取扱説明書

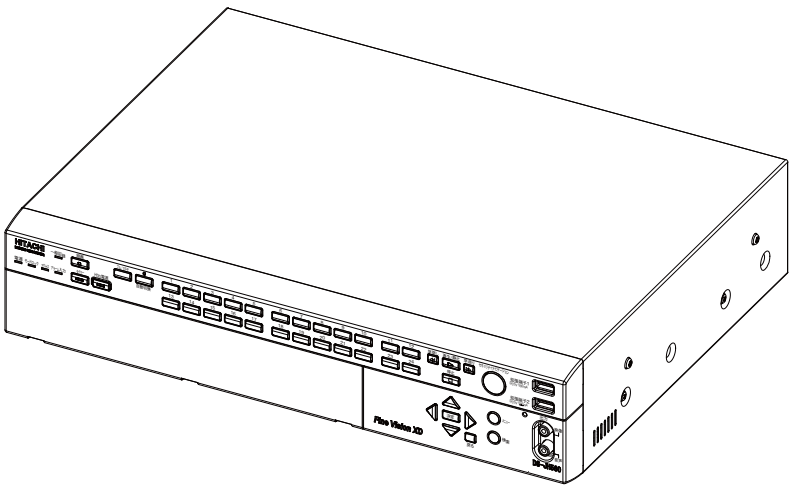
HITACHI
Inspire the Next

日立ハイブリッドレコーダー

DS-JH570
DS-JH560
運用編

1章 はじめに
2章 再 生
3章 検索／サーチ
4章 外部ストレージへの保存と再生
5章 その他の使いかた
6章 付 録

「運用編」では、設定した後に本機を操作する際に必要な操作方法について説明しています。
機器の接続方法、各種機能の設定については、別冊の取扱説明書「設定編」をご覧ください。



このたびは日立ハイブリッドレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。なお、お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

【付属品】付属品をご確認ください

電源コード …… 1 本
（電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。）
取扱説明書 設定編 …… 1 冊
取扱説明書 運用編（本書）…… 1 冊

もくじ

1　はじめに

1．本機で出来ること …… 3

2　再　生

1．再生のしかた …… 4
2．その他の再生 …… 6
3．記録中に映像を再生する（記録同時再生） …… 8
4．インデックスサーチ（再生中） …… 8

3　検索／サーチ

1．検索について …… 9
2．タイムデートサーチ …… 10
3．最新画像サーチ …… 11
4．インデックスサーチ …… 12
5．モーションディテクタサーチ …… 13
6．いたずら検知サーチ …… 14
7．日時絞込みサーチ …… 15
8．アラームサーチ …… 16
9．上書き禁止サーチ …… 17

4　外部ストレージへの保存と再生

1．外部ストレージの接続 …… 18
2．外部ストレージの初期化 …… 19
3．外部ストレージに保存する（バックアップ記録） …… 20
4．本機で再生する（バックアップ再生） …… 21
5．PCで再生する（DS-J VIEWER） …… 23
6．自動バックアップ …… 34

5　その他の使いかた

1．ライブ画面の使いかた …… 37
2．映像をズーム表示する …… 40
3．モードを切り換える（モード移動） …… 41
4．ブザー音を止める …… 41
5．警告表示を消す …… 42
6．Webブラウザ操作 …… 42
7．Fine Vision XD Viewer ダウンロード …… 42
8．DS-J VIEWER ダウンロード …… 43
9．IPカメラの交換 …… 43
10. パン・チルト・ズームカメラを制御する …… 44
11. セーブ／ロードの設定 …… 45
12. ヘルプの使い方 …… 46

6　付　録

1．故障かな･･･と思ったら …… 47
2．異常検出と通知、復旧方法 …… 50

1章 はじめに

1 本機で出来ること

機能名称	内　容	参照先
再生	ハードディスクに記録した映像／音声を再生します。	(→ 4 ページ)
タイムデートサーチ	見たい映像の日付・時刻を指定して頭出しします。	(→ 10 ページ)
最新画像サーチ	記録済みの最新画像を検索して表示します。	(→ 11 ページ)
インデックスサーチ	一般記録、タイマー記録、アラーム記録をするたびに自動的に記録開始の部分にインデックス信号が記録されます。この信号を検知して、記録した場面の頭出しをします。	(→ 12 ページ)
モーションディテクタサーチ	記録した画像の中から、動きを検知した先頭位置を検索します。	(→ 13 ページ)
いたずら検知サーチ	IP カメラまたはアナログカメラでのいたずら検知の検出で、記録された検知結果を分類ごとに絞り込んで検索します。	(→ 14 ページ)
日時絞込みサーチ	指定期間の映像を、1 分／ 5 分／ 10 分／ 1 時間／ 12 時間毎に検索して一覧表示します。	(→ 15 ページ)
アラームサーチ	アラーム記録をする度に、自動的に記録開始の部分にインデックスが記録されます。この信号を検知して、記録した場面の頭出しをします。（モーションディテクタやセンサー、非常アラームが検索の対象になります。）	(→ 16 ページ)
上書き禁止サーチ	上書き禁止に設定した映像を検索します。	(→ 17 ページ)
外部ストレージへの保存	本機に記録した映像／音声を、外部ストレージに保存することができます。	(→ 18 ページ)
PC で再生する	USB メモリなどの外部ストレージに保存した映像を、パソコンで再生することができます。	(→ 23 ページ)
自動バックアップ	本機のデータを拡張端子に接続した外部ストレージに、自動的にバックアップすることができます。	(→ 34 ページ)
映像のズーム	フル画面時（ライブ映像／再生映像／静止画／記録同時再生）映像を拡大して表示します。	(→ 40 ページ)
Web ブラウザ操作	Windows パソコンから LAN を経由して、本機の設定を行うことができます。	(→ 42 ページ)
Fine Vision XD Viewer	Windows パソコンから LAN を経由して、カメラのライブ表示、本機の記録再生、記録データのダウンロードを簡易的に行えます。	(→ 42 ページ)
IP カメラの交換	日立製 IP カメラは、設定を引き継いで交換することができます。	(→ 43 ページ)
パン・チルト・ズームカメラの制御	本機に接続したパン・チルト・ズームカメラを制御することができます。	(→ 44 ページ)
セーブ / ロード	本機の設定データを USB メモリに保存、または USB メモリ内にセーブした設定データを読み込むことができます。	(→ 45 ページ)

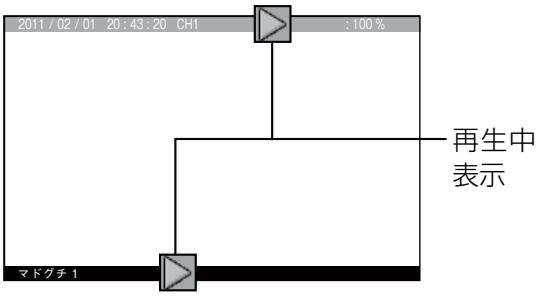
2章 再　生

1 再生のしかた

ハードディスクに記録した映像音声を再生します。

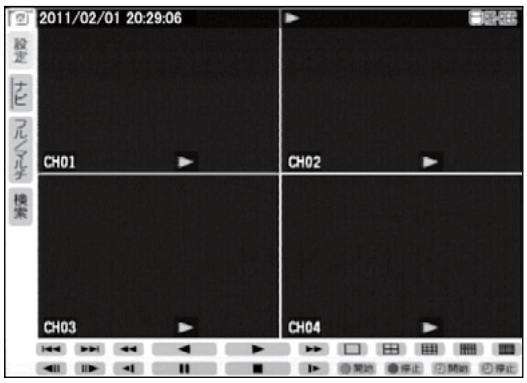
再生する

1 再生/静止 ▷



- 再生中は、「再生／静止」ランプが点灯（緑）します。
- モニター画面に補助情報表示領域、チャンネル情報表示領域が表示されている場合は「▷」が表示されます。また、年月日／時刻（黄色または緑色）が表示されます。
- 映像は記録されたレートに従って再生されます。
- ハードディスクへのアクセス中は、アクセスランプ（緑）が点滅します。

お知らせ
- **デコード能力を超える場合は、間引き再生をおこなうため映像の更新周期が下がります。その際、画面上部の再生中表示マーク「▷」の色が通常の緑色から青色となります。**



音声を切り換える

1 ナビゲーション ○ から「音声切換」を選び、決定

再生中の音声を切り換えて再生することができます。

【連動】　：アナログ音声にアナログカメラを割り当てた音声が出力されます。IP カメラが接続された CH を選択したときは、そのカメラの音声を出力します。

【固定】　：画面の切換に関係なく、固定した CH の音声を出力します。

【NET 音声】：ライブ時は、VisionNet Manager による遠隔操作(→設定編 111 ページ）をしている場合、パソコンに接続したマイク音声が出力されます。遠隔操作をしていない場合、音声は出力されません。また、再生時の音声も出力されません。

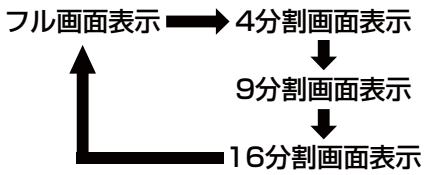
【なし】　：音声は出力されません。

- 事前に CH と機器 ID（A1 ～ A16）を登録してください。アナログカメラの音声設定は、[メニュー] →[設定] →[記録] →[アナログ音声] で行ってください。（→設定編 45 ページ）

再生画面の表示画面を変える

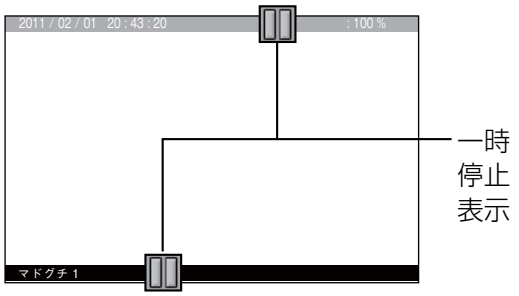
1 フル/マルチ

表示画面を選んでください。フル/マルチ を押すたびに次のように切り換わります。



見たい場面を止める

1 再生中に 再生/静止



- モニター画面に補助情報表示領域が表示されている場合は「▷」（再生中）が「⏸」に変わり、一時停止（静止画）します。
- 再生一時停止中は 再生/静止 のランプが点滅します。
- もう一度 再生/静止 を押すと、再生を開始します。

各チャンネルの映像を見る

1 1 ～ 24

録画された時刻の別カメラの映像を確認する場合などに、再生中にチャンネルを切り換えます。
- チャンネル情報表示領域に、チャンネルにつけた名前が表示されます。

2 停止

停止 を押すと、再生/静止 のランプが消えて、モニター画面には現在接続されているカメラのライブ映像が映し出されます。

お知らせ
- **記録の最後まで再生すると、一時停止（静止画）になります。**
- **画面表示を日付表示の出ている画面（補助情報表示）にしておくと、記録された日付や時刻を確認することができます。**
- **記録レートによって、映像が映し出されるまでに数秒から数十秒かかる場合があります。**
- **再生時は 25 分割画面表示はできません。**
- **25 分割画面の時に再生ボタンを押すと、フル画面となります。**

2 その他の再生

再生のスピードを変える（早送り再生／早戻し再生）

1 再生中に 早送り ▷▷ または 早戻し ◁◁ を押す

再生中にフロントパネルの［早送り］、［早戻し］ボタンを押すことにより再生速度を変えることができます。

お知らせ
- 通常の再生状態から 5 倍速再生にしたいときは、早送りボタンを 2 回押してください。
- 5 倍速再生中に 2 倍速再生にしたいときは、早戻しボタンを 1 回押してください。
- 100 倍速時から 60 倍速に戻す場合は、早戻しボタンを 1 回押してください。
- 再生状態および早送り再生中から 100 倍速再生を行いたい時は、フロントパネルの早送りボタンを長押しします。早戻しボタンを長押しすると、100 倍速逆再生になります。

ゆっくりとした速さで見る（コマ送り再生）

1 静止画中に 決定 を押しながら 早送り ▷▷ を押す

1 画面に対して 1 コマ送りします。
- 早送り ▷▷ を押すと、スロー再生 1/5 になります。

お知らせ
- フル画面表示のときのみ動作します。

逆の動きでゆっくり見る（逆転コマ送り再生）

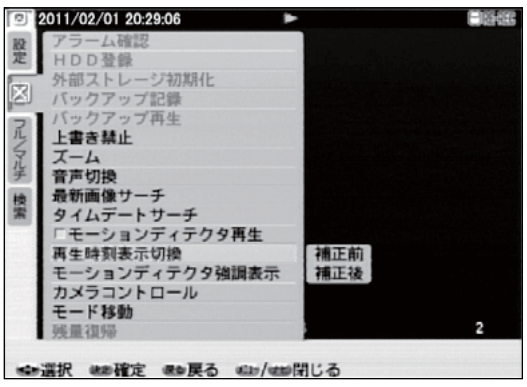
1 静止画中に 決定 を押しながら 早戻し ◁◁ を押す

1 画面に対して逆方向に 1 コマ送りします。
- 早戻し ◁◁ を押すと、逆転スロー再生 1/5 になります。

お知らせ
- フル画面表示のときのみ動作します。

時刻表示を変える

1 再生中に ナビゲーション ◯ から「再生時刻表示切換」を選び 決定 「補正前」「補正後」を選び 決定



記録したあとに、途中で時刻修正したときなど、再生時刻の表示を変更することができます。通常は「補正後」の時刻を使用します。

【補正前】：補正前の時刻を表示します。
（再生日時表示：黄色）
【補正後】：時刻補正した時刻を表示します。
（再生日時表示：緑色）

お知らせ
- 再生中のみ変更できます。

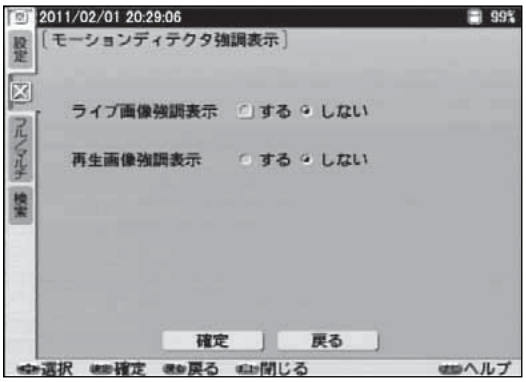
2 メニュー

再生画面に戻ります。

モーションディテクタ強調表示を設定する

フル画面表示中にモーションディテクタ検索の結果をつぎのように強調することができます。
- 画面内の検知範囲（検知箇所または画面全体）を強調表示する。

1 ナビゲーション ◯ **から「モーションディテクタ強調表示」を選び、「ライブ画像強調表示」「再生画像強調表示」を選び** 決定



「ライブ画像強調表示」：ライブ時の動き / 滞留検知結果をグラフィカルに表示します。（フル画面のときのみ）

「再生画像強調表示」：再生時の動き / 滞留検知結果をグラフィカルに表示します。（フル画面のときのみ）

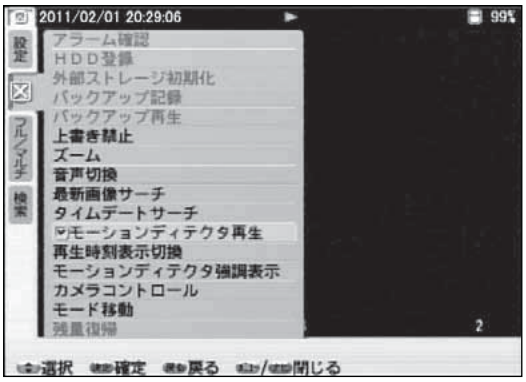
2 **「確定」を選び** 決定

確認画面が表示されます。
[OK] を選び 決定 を押すと、設定内容が保存され、メニュー画面に戻ります。

モーションディテクタ再生

フル画面で再生中、モーションディテクタの設定（→設定編 85 ページ）または、いたずら検知の設定（→設定編 93 ページ）をした場合、以下の再生動作になります。
- モーションディテクタ設定時：映像に動きがない区間は 10 倍速再生し、動きがある区間は 5 秒間通常再生を行ないます。
- いたずら検知設定時：いたずら検知のない区間は 10 倍速再生し、いたずら検知のある区間は 5 秒間通常再生を行ないます。

1 ナビゲーション ◯ **から「モーションディテクタ再生」を選び** 決定



「チェック」が表示され、「モーションディテクタ再生」を有効にします。もう一度選ぶと、「チェック」がはずれ「モーションディテクタ再生」は無効になります。

2 メニュー

再生画面に戻ります。

3 記録中に映像を再生する（記録同時再生）

記録を続けながら再生映像を見ることができます。

フル画面表示中に再生/静止を押した場合

- モニター画面がフル画面表示の再生映像に切り換わり、記録を止めずに再生します。

分割画面表示中に再生/静止を押した場合

- マルチ画面のすべての画面が、再生映像に切り換わり、記録を止めずに再生します。
- 25 分割画面の時は、フル画面となります。

お知らせ
- **再生するチャンネルを変えたい場合は、［チャンネル選択］ボタンを押してください。**
- **再生している画面は、通常の再生画面と同様に、早送り、早戻し再生、静止、逆転再生、コマ送り、逆転コマ送りの操作が行えます。**
- **停止を押すと再生が停止し、ライブ映像に戻ります。**
- **再生する映像が記録する映像部分まで追い付いたら、メッセージが表示され、静止画になります。**

4 インデックスサーチ（再生中）

検索結果を再生中または静止画再生中に、次または一つ前の検索位置の映像を探します。

順サーチ

次の検索位置の映像を探し、再生が開始されます。

1 再生中または静止画再生中に
再生画面で［戻る］を押しながら［早送り］ボタンを押す

静止画再生中にもう一度［戻る］を押しながら［早送り］ボタンを押すと、次の位置を探します。

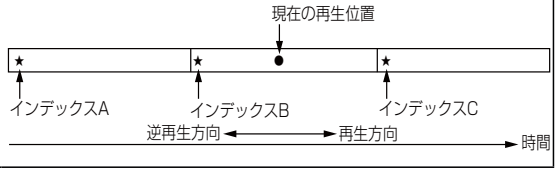
逆サーチ

一つ前の検索位置の映像を探し、映像が見つかると再生が開始されます。

1 再生中または静止画再生中に
再生画面で［戻る］を押しながら［早戻し］ボタンを押す

静止画再生中にもう一度［戻る］を押しながら［早戻し］ボタンを押すと、前の位置を探します。

お知らせ
- **ナビゲーションを押して方向ボタンで「最新画像サーチ」を選び［決定］を押すと、最新記録映像を静止画表示します。**
- **同一チャンネルで 2 つのタイマー記録が時間的につながっている場合、最初のタイマー記録の始めの部分がインデックスとなります。**
- **インデックスサーチで見つけた映像を再生する場合、見つけた映像の次の画像から再生されます。記録レートが大きい場合は、その分だけ進んだ時刻から再生されます。**
- **それまでの再生方向に関わらず、現在の再生位置から順サーチするとインデックス C を検索し、逆サーチするとインデックス B を検索します。**



3章 検索／サーチ

1 検索について

日時指定や最新の映像、検索する映像の種類から目的の映像を探すことができます。

検索を押すと表示される「検索メニュー」には、「タイムデートサーチ」、「最新画像サーチ」、「インデックスサーチ」、「モーションディテクタサーチ」、「いたずら検知サーチ」、「日時絞込みサーチ」、「アラームサーチ」、「上書き禁止サーチ」があります。

「検索メニュー」は、メニューから［検索］を選び決定でも表示できます。

■タイムデートサーチ（→ 10 ページ）

見たい日時を入力すると、その映像を検索して表示します。

■最新画像サーチ（→ 11 ページ）

最新の記録画像を検索して表示します。

■インデックスサーチ（→ 12 ページ）

センサー（アラームすべて）、モーションディテクタ、非常アラーム、タイマー記録、一般記録を検索して一覧表示します。

・記録映像の新しい方から順に表示します。

■モーションディテクタサーチ（→ 13 ページ）

映像内の動きのあった映像を検索して表示します。

■いたずら検知サーチ（→ 14ページ）

IP カメラまたはアナログカメラのいたずら検知で記録された検知結果を、分類ごとに絞り込んで検索します。

■日時絞込みサーチ（→ 15 ページ）

指定期間の映像を、1 分／5分／ 10 分／ 1 時間／ 12 時間の間隔毎に検索して一覧表示できます。

・記録映像の古い方から順に表示します。

■アラームサーチ（→ 16 ページ）

アラーム記録すべての履歴から、検索します。

■上書き禁止サーチ（→ 17 ページ）

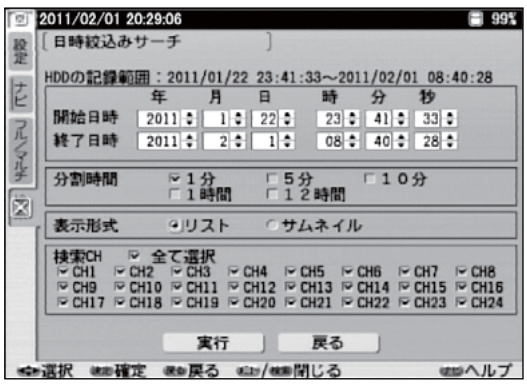
上書きを禁止した期間の映像を検索します。

検索する映像の範囲を日時で指定する

検索メニューの「開始日時」と「終了日時」を選び 決定

リスト表示とサムネイル表示を切り換える

検索メニューの「表示形式」で、検索結果の表示を「リスト形式」または「サムネイル形式」に変更して表示することができます。



次ページへつづく

【リスト】：検索結果がリスト形式で表示されます。（スクロールバーの【▲】【▼】で縦にスクロールすることができます。）

【サムネイル】：検索結果がサムネイル画面で表示されます。

検索するチャンネルを絞込む

検索メニューの「検索ＣＨ」の中から検索するＣＨを選び 決定 を押します。

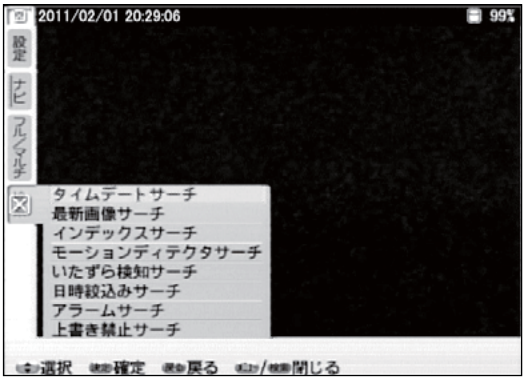
チェックが入っているチャンネルが検索対象になります。検索したくないチャンネルは、チェックをはずします。

2 タイムデートサーチ

見たい映像を日付・時刻を指定して表示します。

1 検索から【タイムデートサーチ】を選び 決定

ナビゲーション
◯を押し、「タイムデートサーチ」を選んで、決定を押してもタイムデートサーチを実行できます。



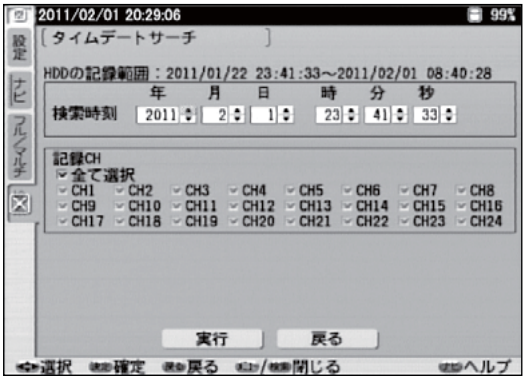
「タイムデートサーチ」画面が表示されます。

2 「検索時刻」を選び 決定 、「記録 CH」を選び 決定

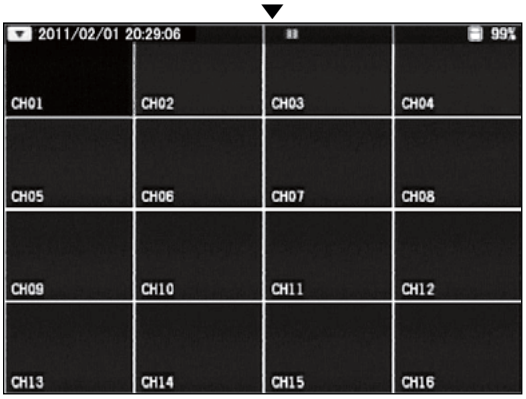
検索したい日時と CH を入力します。

- CH は全て選択か 1 つの CH しか指定できません。

3 【実行】を選び、 決定



検索を開始します。
検索後、指定した日時の映像が、16 分割画面の静止画で表示されます。
1 つの CH 指定の場合はフル画面表示となります。



4 再生/静止 ▷

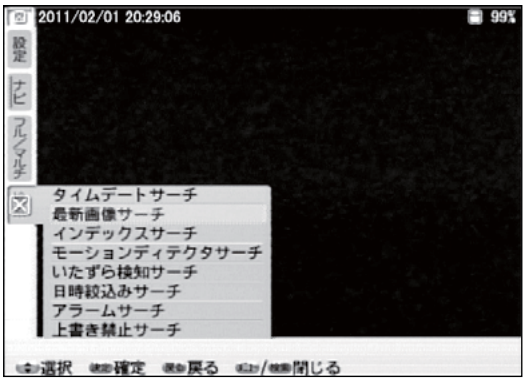
再生を開始します。
- フル/マルチ または 1 ～ 24 でモニター画面の表示を変更できます。
- 停止 □ を押すと、再生を終了します。

お知らせ
- **検索した時刻にカメラの映像がない場合は、検索時刻より後の映像を表示します。**
- **検索で入力した日時は、次回検索を行うときに表示されます。**
- **検索日時を記録データの日時より前に設定したときは、もっとも古い映像を表示します。**
- **検索日時を記録データの日時より後に設定したときは、もっとも新しい映像を表示します。**

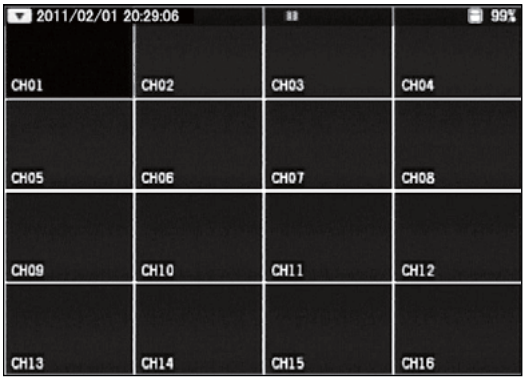
3 最新画像サーチ

記録済みの最新画像を検索して表示します。

1 検索 から【最新画像サーチ】を選び 決定



検索後、記録済みの最新画像が 16 分割画面の静止画で表示されます。



- ナビゲーション ◯ を押し、「最新画像サーチ」を選んで、決定 を押しても最新画像サーチを実行できます。

お知らせ
- **最新記録位置から最大約 15 秒前までの映像となります。（記録レートによって異なります）**

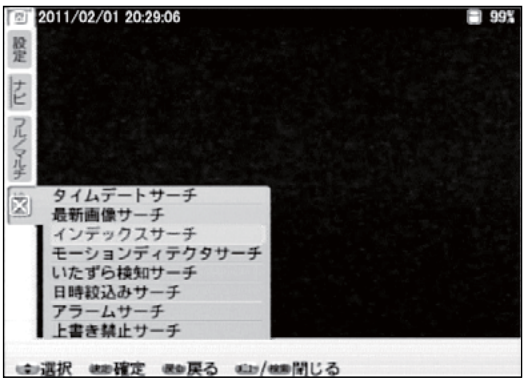
2 再生/静止 ▷

再生を開始します。
- フル/マルチ または 1 ～ 24 でモニター画面の表示を変更できます。
- 停止 □ を押すと、再生を終了します。

4 インデックスサーチ

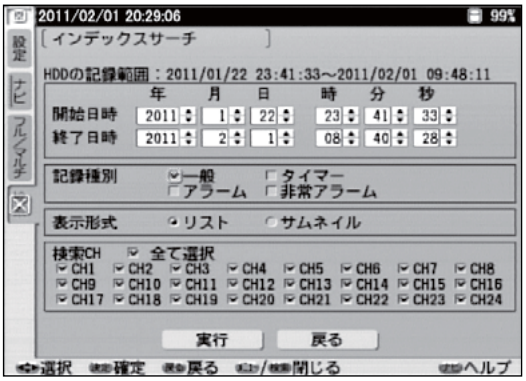
一般記録、タイマー記録、アラーム記録をするたびに自動的に記録開始の部分にインデックス信号が記録されます。この信号を検知して、記録した場面の頭出しをします。

1 検索から【インデックスサーチ】を選び 決定



「インデックスサーチ」画面が表示されます。

2 「記録種別」を選び 決定



【一般】 ：一般記録を開始した先頭の画像を検索します。
【タイマー】 ：タイマー記録を開始した先頭の画像を検索します。
【アラーム】 ：「アラーム」で検知し、記録した先頭の画像を検索します。
【非常アラーム】：「非常アラーム」で検知し、記録した先頭の画像を検索します。

3 【実行】を選び、 決定

検索を開始します。
検索後、リストまたはサムネイル（静止画）が一覧表示されます。

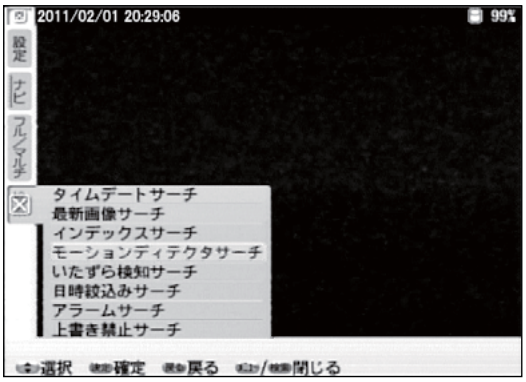
- リストまたはサムネイル画面（静止画）を選び、再生/静止 ▷ またはもう一度 決定 を押すと選んだ画面がモニターにフル画面で表示されます。
  再生/静止 ▷ を押すと、フル画面表示されている画面を再生します。
  停止 □ を押すと、再生を終了します。

お知らせ
- **インデックスの検索結果は、最新映像から古い映像へと順次表示されます。**
- **検索結果の「リスト」/「サムネイル」の切り換え、検索するチャンネルの絞込み、検索範囲の日時指定は、「検索について」（→９ページ）をご覧ください。**
- **リストやサムネイル表示で項目にフォーカスされているときに、早送り ▷▷ を押すと画面下部に移動します。早戻し ◁◁ を押すと画面の上部リストもしくはサムネイル項目にフォーカス移動します。**

5 モーションディテクタサーチ

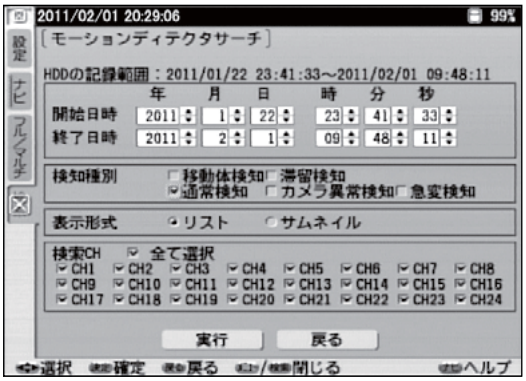
動きを検知した先頭位置を検索します。

1 (検索)から【モーションディテクタサーチ】を選び 決定



「モーションディテクタサーチ」画面が表示されます。

2 「検知種別」を選び 決定



【移動体検知】　：人やモノが移動した状態を検知したときの先頭の画像を検索します。

【滞留検知】　：一定時間、動きがなかった状態を検知したときの先頭の画像を検索します。

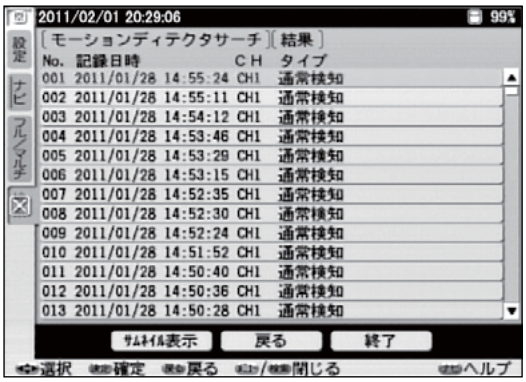
【通常検知】　：動きを検知したときの先頭の画像を検索します。

【カメラ異常検知】：映像が長時間暗い状態、長時間動きが無い状態を検知したときの先頭の画像を検索します。

【急変検知】　：映像が急激に変化した状態を検知したときの先頭の画像を検索します。

3 【実行】を選び 決定

検索を開始します。
検索後、リストまたはサムネイル（静止画）が一覧表示されます。



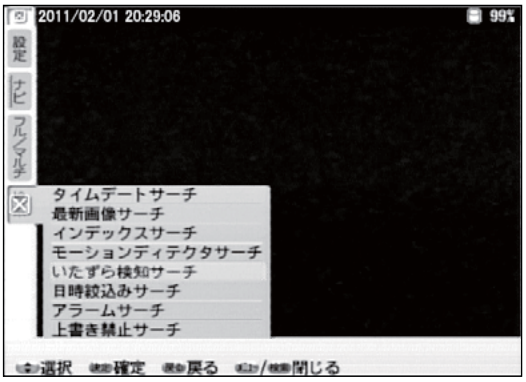
- リストまたはサムネイル画面（静止画）を選び、再生/静止 ▷ またはもう一度 決定 を押すと選んだ画面がモニターにフル画面で表示されます。
- 再生/静止 ▷ を押すと、フル画面表示されている画面を再生します。
- 停止 □ を押すと、再生を終了します。

お知らせ
- **モーションディテクタの検索結果は、最新記録映像から古い映像へと順次表示されます。**
- **検索結果の「リスト」/「サムネイル」の切り換え、検索するチャンネルの絞込み、検索範囲の日時指定は、「検索について」（→９ページ）をご覧ください。**
- **リストやサムネイル表示で項目にフォーカスされているときに、早送り ▷▷ を押すと画面下部の項目に移動します。早戻し ◁◁ を押すと画面の上部リストもしくはサムネイル項目にフォーカス移動します。**

6 いたずら検知サーチ

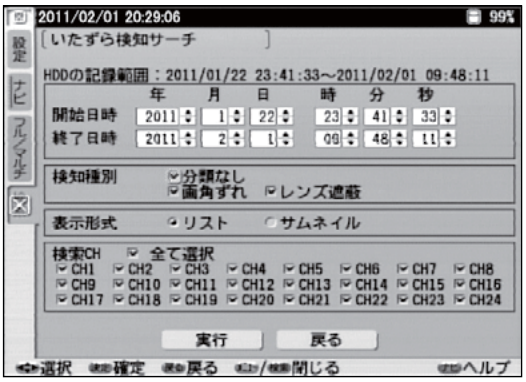
IP カメラまたはアナログカメラのいたずら検知で、記録された検知結果を分類ごとに絞り込んで検索します。

1 (検索)から【いたずら検知サーチ】を選び 決定



「いたずら検知サーチ」画面が表示されます。

2 「検知種別」を選び 決定



- **「検知種別」**
  - **【分類なし】**：分類なしで検知した画像を検索します。
  - **【画角ずれ】**：カメラを動かすことにより、カメラ視野が設定範囲外にずれた状態を検知した画像を検索します。
  - **【レンズ遮蔽】**：布などにより物理的にカメラ視野がふさがれた状態を検知した画像を検索します。

3 【実行】を選び、 決定

検索を開始します。
検索後、リストまたはサムネイル（静止画）が一覧表示されます。

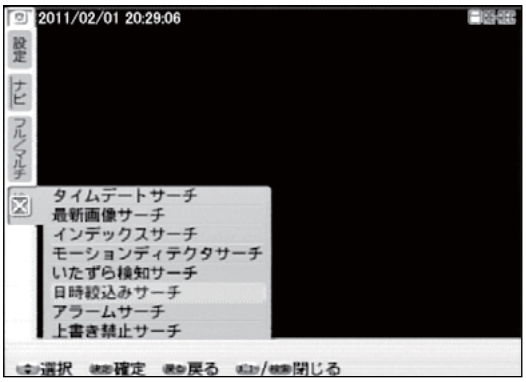
- リストまたはサムネイル画面（静止画）を選び、再生/静止 ▷ またはもう一度 決定 を押すと選んだ画面がモニターにフル画面で表示されます。
- 再生/静止 ▷ を押すと、フル画面表示されている画面を再生します。
- 停止 □ を押すと、再生を終了します。

お知らせ
- **いたずら検知の検索結果は、最新映像から古い映像へと順次表示されます。**
- **検索結果の「リスト」/「サムネイル」の切り換え、検索するチャンネルの絞込み、検索範囲の日時指定は、「検索について」（→９ページ）をご覧ください。**
- **リストやサムネイル表示で項目にフォーカスされているときに、早送り ▷▷ を押すと画面下部に移動します。早戻し ◁◁ を押すと画面の上部リストもしくはサムネイル項目にフォーカス移動します。**

7 日時絞込みサーチ

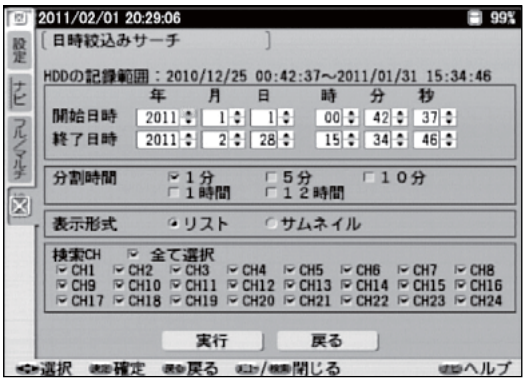
指定期間の映像を、1 分／ 5 分／ 10 分／ 1 時間／ 12 時間毎に検索して一覧表示します。

1 (検索)から【日時絞込みサーチ】を選び 決定



「日時絞込みサーチ」画面が表示されます。

2 「分割時間」を選び 決定



映像を表示する時間の間隔を指定します。
【1 分】、【5 分】、【10 分】、【1 時間】、【12 時間】:
映像を分割して表示する間隔を指定します。

3 【実行】を選び 決定

検索を開始します。
検索後、リストまたはサムネイル（静止画）が記録されている最古映像から最新映像へ順に表示されます。

- リストまたはサムネイル画面（静止画）を選び、決定を押すと選んだ画面にチェックマークが付きます。
  再生/静止 ▷ を押すと、フル画面表示されている画面を再生します。
  停止 □ を押すと、再生を終了します。

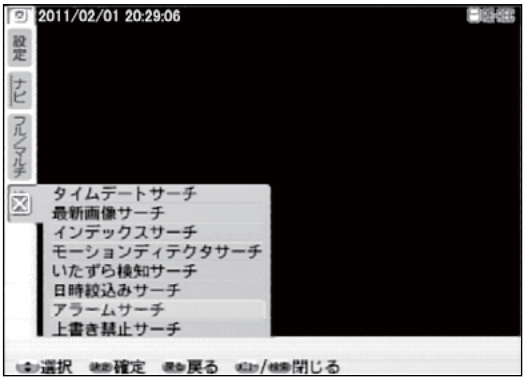
お知らせ
- **検索結果の「リスト」/「サムネイル」の切り換え、検索するチャンネルの絞込みは、「検索について」(→ 9 ページ）をご覧ください。**
- **最も古い記録映像から新しい映像へと順次表示されます。**
- **日時絞込み検索以外は、最新記録映像から古い映像へと順次表示されます。**
- **リストやサムネイル表示で項目にフォーカスされているときに、早送り ▷▷ を押すと画面下部に移動します。早戻し ◁◁ を押すと画面の上部リストもしくはサムネイル項目にフォーカス移動します。**

チェックマークを付けた位置から等間隔で画像を表示することができます。検索表示画面で各ボタンを押して選択します。
【1 分】、【5 分】、【10 分】、【1 時間】、【12 時間】

8 アラームサーチ

アラーム記録をする度に、自動的に記録開始の部分にインデックスが記録されます。この信号を検知して、記録した場面の頭出しをします。(モーションディテクタやセンサー、非常アラームが検索の対象になります。)

1 (検索)から【アラームサーチ】を選び 決定



「アラームサーチ」画面が表示されます。

2 「アラーム種別」を選び 決定

【アラーム】 ：「モーションディテクタ」や「センサーアラーム」で検知した先頭の画像を検索します。

【非常アラーム】 ：「非常アラーム」で検知した先頭の画像を検索します。

3 【実行】を選び、 決定

検索を開始します。
検索後、リストまたはサムネイル（静止画）が最新記録の映像から順に表示されます。

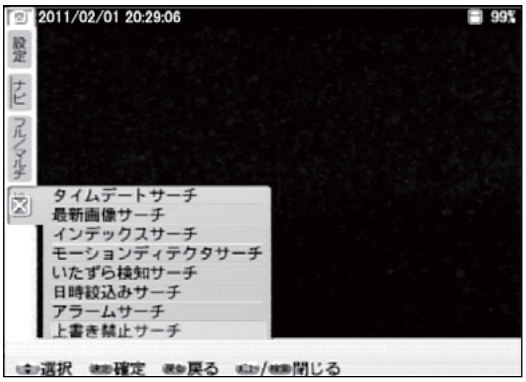
- 再生/静止 ▷ を押すと、フル画面表示されている画面を再生します。
  停止 □ を押すと、再生を終了します。

お知らせ
- **検索結果の「リスト」/「サムネイル」の切り換え、検索するチャンネルの絞込み、検索範囲の日時指定は、「検索について」(→９ページ）をご覧ください。**
- **リストやサムネイル表示で項目にフォーカスされているときに、早送り ▷▷ を押すと画面下部に移動します。早戻し ◁◁ を押すと画面の上部リストもしくはサムネイル項目にフォーカス移動します。**

9 上書き禁止サーチ

上書き禁止に設定した映像を検索します。

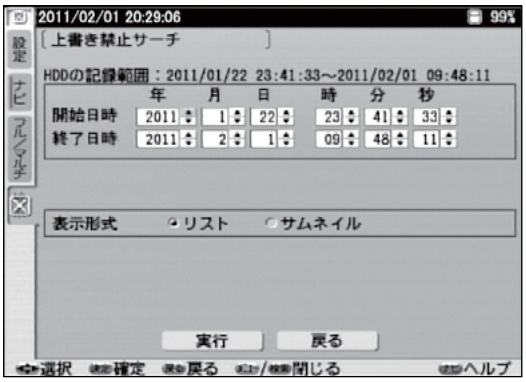
1 (検索)から【上書き禁止サーチ】を選び 決定



「上書き禁止サーチ」画面が表示されます。

- ナビゲーション◯を押し、「上書き禁止」を選んで、決定を押すと上書き禁止の設定ができます。

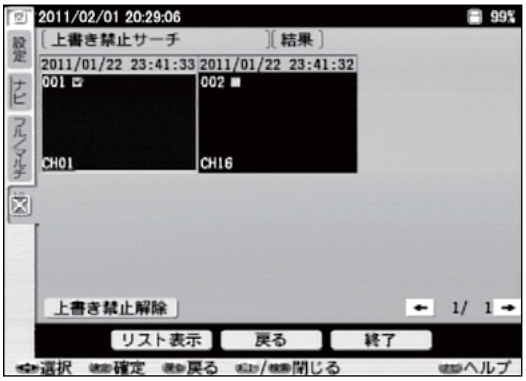
2 「開始日時」、「終了日時」を選び 決定



検索開始日時と検索終了日時を入力し、上書き禁止に設定した先頭の画像を検索します。

3 【実行】を選び 決定

検索を開始します。
検索後、リストまたはサムネイル（静止画）が記録されている最新映像から順に表示されます。



- リストまたはサムネイル画面（静止画）を選び、決定を押すと選んだ画面にチェックマークが付きます。
  再生/静止▷を押すと、16 分割静止画で表示します。もう一度再生/静止▷を押すと、16 分割画面で再生します。
  停止□を押すと、再生を終了します。

お知らせ

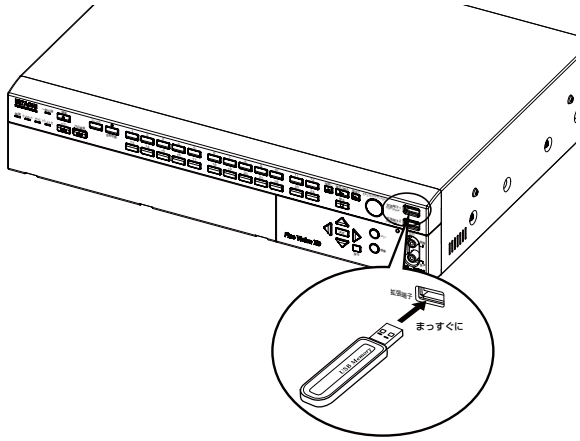
- **上書き禁止の検索結果は、最新記録映像から古い映像へと順次表示されます。**
- **上書き禁止データが存在しない場合は、「該当する映像がありません」とメッセージ表示されます。**
- **検索結果の「リスト」/「サムネイル」の切り換え、検索するチャンネルの絞込み、検索範囲の日時指定は、「検索について」（→９ページ）をご覧ください。**
- **「上書き禁止」の設定を解除できます。「記録の上書き禁止を解除する」（→設定編 95 ページ）をご覧ください。**
- **リストやサムネイル表示で項目が選択されているときに、早送り▷▷を押すと画面下部に移動します。早戻し◁◁を押すと画面の上部リストもしくはサムネイル項目に選択を移動します。**

4章 外部ストレージへの保存と再生

本機は、HDD に記録した映像、音声を外部ストレージに保存するための拡張端子を備えています。拡張端子に接続可能な外部ストレージは接続確認機器のみです。「接続確認機器」(→設定編 198 ページ) をご覧ください。
また、保存したデータを本体およびパソコンで再生することができます。

1 外部ストレージの接続

本機をおさえながら拡張端子 1 または 2 にまっすぐに入れて、静かに差し込みます。
補助情報表示領域が表示されている場合は または が表示されます。



■ 記録方式とバックアップ機能によるメディア使用可否について

			DVD-RAM	DVD-R	HDD	USB メモリ
H.264		マニュアル	○	○	○	○
	自動	同時	×	×	×	×
		スケジュール	○	×	○	○
JPEG		マニュアル	○	○	○	○
	自動	同時	×	×	○	×
		スケジュール	○	×	○	○

○：使用可能です
×：使用できません

! 注意

- 外部ストレージを火気に近づけたり、火の中に投げ入れたりしないでください。発熱して破裂し、けがややけどの原因となります。
- **故障やデータの消失を防ぐために、外部ストレージを取り扱う際は、次のことにご注意ください。**
- 外部ストレージを折り曲げたり、強い力や衝撃を加えたり、落としたりしないでください。
- 静電気や磁気的、電気的ノイズの発生しやすいところでの使用・保管は避けてください。
- 高温多湿のところ、ほこりの多い場所、および侵食性の高い環境での使用・保管は避けてください。
- コネクタ部にごみや異物を入れないでください。
- 保存、再生またはアクセスランプが点灯しているときに外部ストレージを抜いたり、本体の電源を切らないでください。保存中のファイルが保存されません。また、外部ストレージを破壊するおそれがあります。
- **データについて**
  お客様または第三者が外部ストレージの使いかたを誤ったり、外部ストレージが電気的ノイズの影響を受けたり、故障・修理したときに、保存したデータが消失することがあります。保存したデータの消失による損害については当社は一切責任を負いません。ご了承ください。
- **外部ストレージの初期化（フォーマット）**
  外部ストレージの初期化は、本機の外部ストレージ初期化で行ってください。
  パソコンなどで初期化すると、本機で使用することができない場合があります。
- **FAT32 以外でフォーマットした場合**
  本機では FAT ３２以外でフォーマットした外部ストレージの初期化はできません。このような場合、パソコンを使用して FAT ３２でフォーマットしてください。
  もし、ご使用のパソコンで FAT32 でのフォーマットを行えない場合は、ご購入のメーカーで提供されているツール等をご使用して再フォーマットしてください。(DVD-RAM は UDF フォーマットです)
- **データのプロテクトについて**
  本機外に出力した画像データの不正利用を防ぐために、パスワードによる認証を行うことができます。ただし、本機で再生するときは、認証は行いません。
  詳しくは、設定編 114 ページをご覧ください。

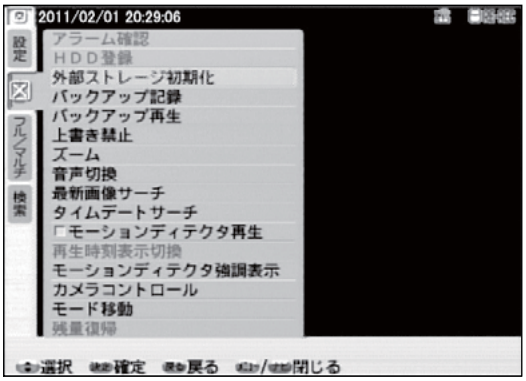
2 外部ストレージの初期化

本機で使用する外部ストレージを初期化します。
ここでは USB メモリを例に説明しています。

! 注意
- **初期化すると外部ストレージの内容はすべて消去されます。**
- **バックアップメディアとして外部ストレージをご使用になる場合には、必ず、初期化を行ってください。**
- **DVD-R は、初期化（選択）できません。**
- **パーティション（ドライブ）分けされていると、最初のドライブのみ表示され、最初のドライブのみ初期化されます。**
- **外部ストレージの認識に時間がかかる場合があります。拡張機器接続アイコンが表示された後、操作してください。**

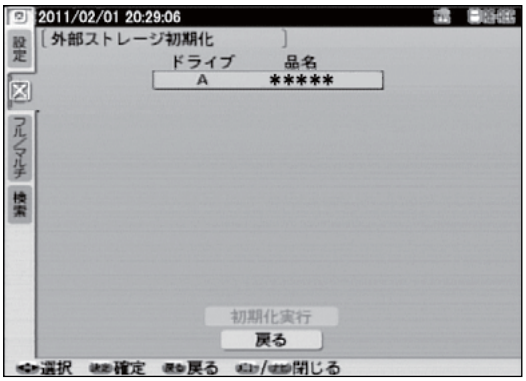
1 外部ストレージを接続する

2 ナビゲーション ◯ から［外部ストレージ初期化］を選び 決定

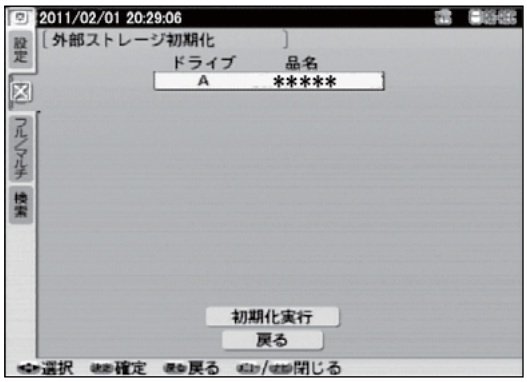


「外部ストレージ初期化」画面が表示されます。

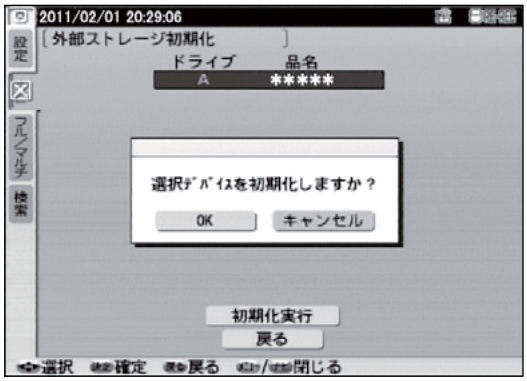
3 初期化するドライブを選び 決定



4 ［初期化実行］を選び 決定



▼



- 「選択デバイスを初期化しますか？」というメッセージが表示されます。
- 【OK】を選ぶと、初期化終了後に「初期化終了しました」というメッセージが表示されます。

5 【OK】を選び 決定

メニュー画面に戻ります。
- USB メモリ内に保存されているデータがある場合、すべて消去されます。

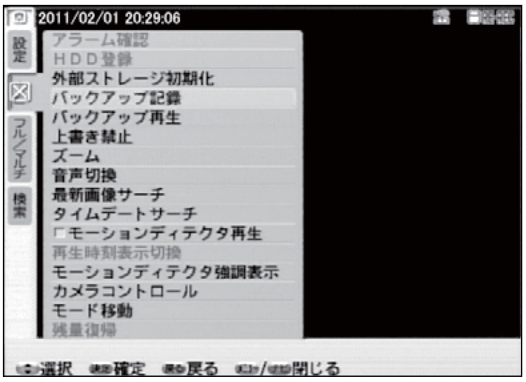
3 外部ストレージに保存する（バックアップ記録）

ハードディスクに記録したデータを外部ストレージに保存します。
バックアップ方式は、「バックアップ」の「バックアップ指定方法」で「時刻指定」または「映像指定」が選択できます。（→ 34 ページ）
保存するデータにプロテクトを設定する場合は、あらかじめ「バックアッププロテクト」（→ 34 ページ）でプロテクトを【有】に設定してください。
ここでは、本体の拡張端子に接続したＵＳＢメモリで、時刻指定を行った場合を例に説明します。

！注意
- DVD-R 記録後は、ディスクを DVD-ROM として再認識するために、トレイの開閉を自動で行います。
- DVD-R に保存中に中断した場合は、ファイナライズされません。
- DVD ドライブのトレイを開閉したときは、認識するのに時間がかかる場合があります。
- ディスク容量がいっぱいになったときは、ディスク交換を要求するメッセージを表示します。
- 保存先の容量が不足し、メディア交換を行う場合は、必ずフォーマット済みのメディアをご使用ください。
- 外部ストレージの認識に時間がかかる場合がありますので、拡張機器接続アイコンが表示された後、操作をしてください。
- マウス接続時にバックアップ記録を行なった場合、マウス操作が鈍くなることがあります。

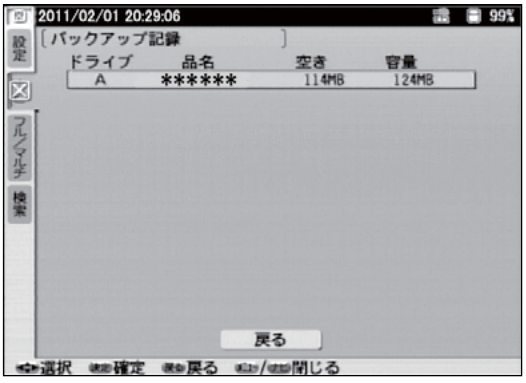
1 本体前面の拡張端子 1 または 2 にＵＳＢメモリを挿入する

2 ナビゲーション から［バックアップ記録］を選び 決定



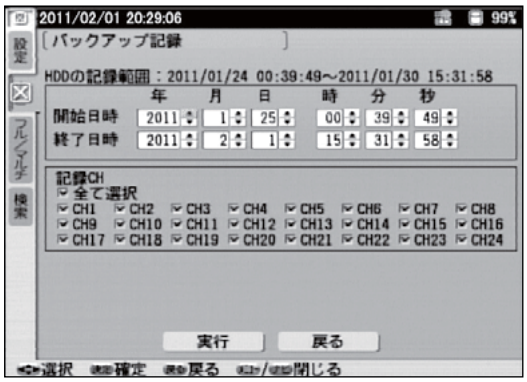
「バックアップ記録」画面が表示されます。

3 保存先のドライブを選び 決定



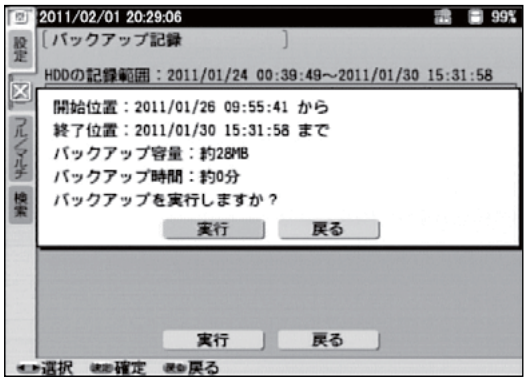
4 「開始日時」、「終了日時」を選び 決定

「記録 CH」を選び 決定



「開始日時」：記録する開始日時を指定します。
「終了日時」：記録する終了日時を指定します。
「記録 CH」：記録する CH を選択します。

5 【実行】を選び 決定



設定が完了すると上の確認画面が表示されます。

■映像指定でバックアップ記録を行う場合

- 「バックアップ」で「バックアップ指定方法」を「映像指定」に設定すると、再生をしながら記録時間の設定をすることができます。（→ 34 ページ）
  保存したい映像の開始位置まで再生し、もう一度 再生/静止 を押して静止画表示にします。
  【確定】を押して開始位置が確定されます。
  終了位置も同じように静止画表示にして【確定】を押すことで終了位置が確定されます。

お知らせ
- フル画面表示をしている場合は、フル画面で表示している映像のみ保存します。
- 映像指定で、複数のチャンネルを保存する場合は、フル/マルチを押して、分割画面表示にしてください。最大16CHまでバックアップ可能です。
- 開始・終了位置はタイムデートサーチなどの検索機能を利用することができます。（→９ページ）
- フル画面表示で保存すると、表示されているチャンネルの映像と音声（その画面と関連付けされている音声）を保存します。
- フォルダ数とファイルの合計は最大1300までです。
- 1フォルダ内ファイル数は最大100までです。

6 【実行】を選び 決定

バックアップ記録が始まります。処理中に、完了までの時間が表示されます。バックアップが終了すると、確認画面が表示されます。
- 保存先の容量が不足した場合は、保存開始から中断されたところまで保存されます。

映像指定の場合は、終了位置確定後、バックアップ記録が始まります。バックアップが終了するとバックアップ完了画面が表示されます。
【終了】ボタンを押すと静止映像のままとなります。

7 【終了】を選び 決定

ライブ画面に戻ります。
USBメモリを取りはずしてください。

4 本機で再生する（バックアップ再生）

外部ストレージに保存したデータは、本機で再生することができます。
ここでは、USBメモリを例に説明します。

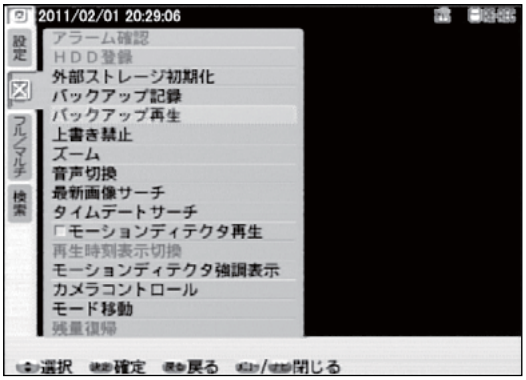
注意
- 外部ストレージの認識に時間がかかる場合があります。 拡張機器接続アイコンが表示された後、操作してください。

本機で再生する

1 本体前面の拡張端子1または2にUSBメモリを挿入する

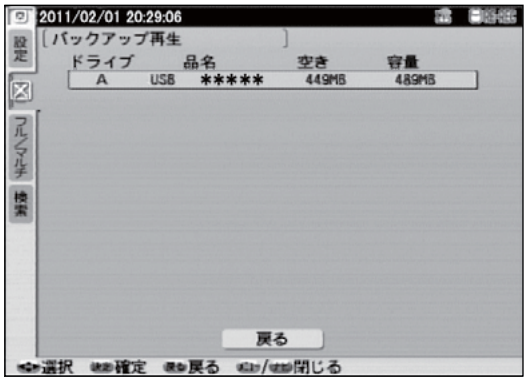
すでに再生中の場合は、「バックアップ再生」はできません。
- 停止を押して再生を停止します。

2 ナビゲーションから［バックアップ再生］を選び 決定



「バックアップ再生」画面が表示されます。

3 再生するドライブを選び 決定



再生するドライブのフォルダが表示されます。

次ページへつづく

4 再生するフォルダを選び 決定

フォルダ内のファイル一覧が表示されます。

5 再生方法を選び 決定 、再生する映像を選び 決定

【先頭から再生】：選択したデータの先頭から再生します。

【検索して再生】：データを検索して、再生します。検索画面が表示されます。

▼

再生する映像ファイルを選択すると、【先頭から再生】選択時は再生が始まり、【検索して再生】選択時は以下の画面が表示されます。

「検索時刻」を設定し、【実行】を選び 決定 を押すと、検索後に再生が始まります。

- 再生中は画面上に外部ストレージのアイコンが表示されます。
- 再生中は 早送り ▷▷ や 早戻し ◁◁ による特殊再生や 再生/静止 ▷ による静止画表示をすることができます。
- 再生を停止するときは 停止 □ を押してください。
- 停止後はバックアップ再生した CH がフル画面でライブ表示されます。

お知らせ
- **再生はフル画面のみです。（フル／マルチボタンは効きません）**
- **再生中にチャンネル選択ボタンで再生チャンネルを変更することはできません。**
- **内蔵／外付け HDD 再生中は、バックアップ保存データの再生はできません。**
- **再生可能な映像データは，ＤＳ -J シリーズで保存されたデータのみです。**
- **バックアップ再生では、100 倍速再生および 100 倍速逆再生はできません。**

6 停止 □

停止 □ を押すと、再生/静止 ▷ のランプが消えて、モニター画面には現在接されているカメラのライブ映像が映し出されます。

5 PCで再生する（DS-J VIEWER）

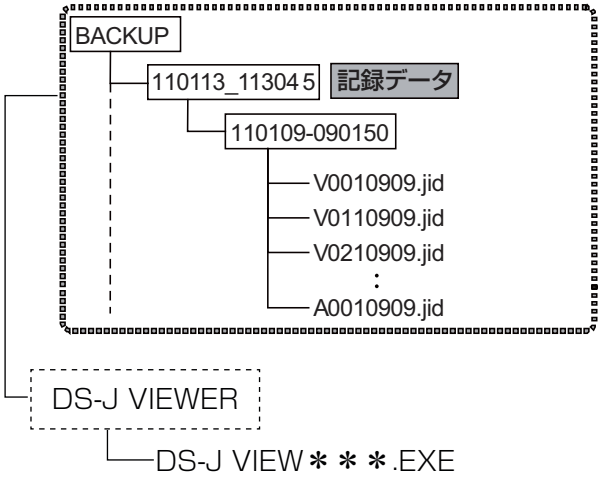
DS-J VIEWER は、USB メモリなどの外部ストレージに保存した映像をパソコンで再生するためのソフトウェアです。再生のほか、静止画の保存や印刷も行えます。
DS-J VIEWER は、外部ストレージに映像を保存すると、映像と同時に外部ストレージに「DS-J VIEW ＊＊＊.EXE(＊＊＊はバージョン番号表記)」としてファイルが保存されます。

！注意 • **DS-J VIEWER は、下記の日立ハイブリッドレコーダーから保存した映像に対応します。**
DS-JH270、DS-JH260、DS-JH570、DS-JH560

DS-J VIEWER のフォルダ／ファイル構成

映像を外部ストレージに保存したときの「DS-J VIEW ＊＊＊.EXE(＊＊＊はバージョン番号表記)」ファイルおよびファイル構成を次に示します。

【例：映像を保存したとき】



使用できるパソコンの条件

OS	Windows® 7 Home Premium
	Windows® 7 Professional
	Windows Vista® Home Premium (SP1/SP2)
	Windows Vista® Business (SP1/SP2)
	Windows® XP Professional Edition (SP3)
	Windows Server® 2003 R2 (SP2)
	Windows Server® 2008 (SP1/SP2)
コンピュータ	IBM® PC/AT® 互換機 (DOS/V 機)
CPU	Intel® Core™ 2Duo 2.4GHz 以上 (最低 Intel® Core™ 2 Duo 1.8GHz 以上)
メモリ	1GB 以上　(OS に Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2008 を使用しているときは 2GB 以上)
画面解像度	1024 × 768 ピクセル以上
色分解	65536 色以上　(フルカラーを推奨)
HDD の空き容量	使用時に 150MB 以上
その他	1024 × 768 ピクセル、16bit (High color) で表示可能なモニター (ディスプレイ)
	DirectX® 9.0c 以降がインストールされていること
	DirectX® 9.0c 以降に対応したビデオデバイスを搭載していること

！注意 • **使用できるパソコンの条件を満たしていても、お使いの他のソフトウェアや機器との組み合わせにより、動作に不具合が生じたり、使用制限が生じたりすることがあります。**
• **使用できるパソコンの条件を満たしていても、分割表示数、記録映像の画質やフレームレートによっては、画面や音声の乱れ、画面表示切り換えの遅延などを生じることがあります。そのようなときは、分割表示数を減らしてください。**

! 注意

- DirectX がインストールされていない、また DirectX のバージョンが 9.0c 未満のパソコンでは、予期しない不具合を生じることがあります。
- Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2008 の半透明機能を使用すると、画面の一部が見えにくくなることがあります。
- DS-J VIEWER は Windows® のスクリーンセーバーの起動を抑止します。
- パソコンのグラフィック性能やモニターの解像度によっては、画面に乱れが生じたり、画面が正しく表示されず、正常に操作できないことがあります。
- DS-J VIEWER はマルチディスプレイでは動作しません。
- 次のことは行わないでください。行うとファイルアクセスエラーとなり、予期しない不具合を生じることがあります。
  - 再生中のファイルやその上位フォルダを削除する。
  - 再生中のファイルやその上位フォルダの名前を変更する。
  - パソコンから再生中のファイルが格納されている外部ストレージをはずす。
  - 動画／静止画保存中に外部ストレージをはずす。
- 映像保存時のファイル名は、登録している CH 名称になりますが、CH 名称に上記文字を含んでいる場合は、保存されるファイル名を自動で変更しますのでご注意ください。

【USB メモリ使用時に対象文字を含む例】：ファイル名を変更します。
CH1 の CH 名称が『駐車場／2F』だった場合、対象文字「／」を含むため、バックアップ時に保存されるファイル名称は『V00 駐車場／2F.jid』ではなく『V00CH01.jid』となります。

【USB メモリ使用時に対象文字を含まない例】：ファイル名を変更しません。
CH1 の CH 名称が『駐車場＿2F』だった場合、対象文字を含みませんので、バックアップ時に保存されるファイル名称は『V00 駐車場＿2F.jid』となります。

■バックアップ対象メディア：USB メモリ、USB-HDD

対象文字	備　考
*	メニューから設定可。
.	
／	
:	
>	
<	
?	
|	
¥	メニューから設定不可。（CH 名称設定ファイル時のみ可。）
“	

■バックアップ対象メディア：DVD-R、DVD-RAM

対象文字	備　考
*	メニューから設定可。
.	
／	
:	
>	
<	
?	
|	
¥	メニューから設定不可。（CH 名称設定ファイル時のみ可。）
“	
半角カナ	メニューから設定可。
全角文字	

起　動

ここでは、映像保存用の外部ストレージに USB メモリを用いたときを例に説明します。
パソコンの画面は Windows Vista® Home Premium の画面で説明しています。

1 **パソコンの電源を入れ、映像を保存した USB メモリを接続する**

! 注意

- 外部ストレージ内に保存した映像をパソコンの HDD にコピー／移動し、「DS-J VIEWER」を起動するときは、必ず外部ストレージ内のすべてのフォルダとファイルをコピー／移動してください。

2 **Windows のマイコンピュータまたはエクスプローラで「DS-J VIEW ＊＊＊ .EXE（＊＊＊はバージョン番号表記）」を選択・実行する**

接続できる USB メモリ（外部ストレージ）は、「接続確認機器」（→設定編 198 ページ）をご覧ください。

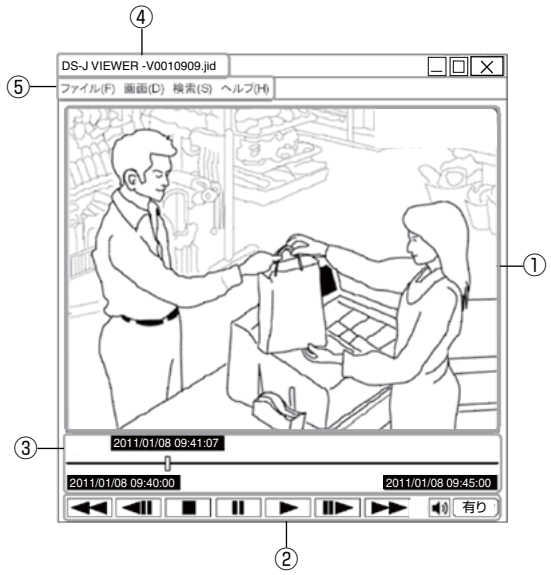
終　了

1 **メニューバーの [ファイル (F)] － [終了 (Q)] を選択・実行する**

または画面右上の [×] を選択・実行する。

メイン画面の説明

DS-J VIEWER を起動するとメイン画面が表示されます。



① 映像ウィンドウ

- 再生映像を表示します。
- 複数チャンネルが保存されているときは、1 画面表示から 4 分割、9 分割画面表示に変更することもできます。また、各分割画面表示から 1 画面表示に変更することもできます。
- 1 画面表示から分割画面表示への変更は、メニューバーの [画面 (D)] から行います。
- 分割画面から 1 画面表示への変更は、任意の画面を選択・実行（ダブルクリック）するか、メニューバーの [画面 (D)] から行います。
- 分割画面表示中、カレントチャンネル（操作対象になっている映像ウィンドウ）には黄色の枠を表示します。

② 走行系制御ボタン

- 再生、一時停止、早送り／早戻し再生などのボタンです。詳細は「走行系制御ボタンについて」（→ 27 ページ）をご覧ください。

③ 時刻スライダーコントロール

- 選択したファイルの記録範囲と再生位置の時刻を表示します。詳細は「再生位置設定スライダーについて」（→ 28 ページ）をご覧ください。

④ タイトルバー

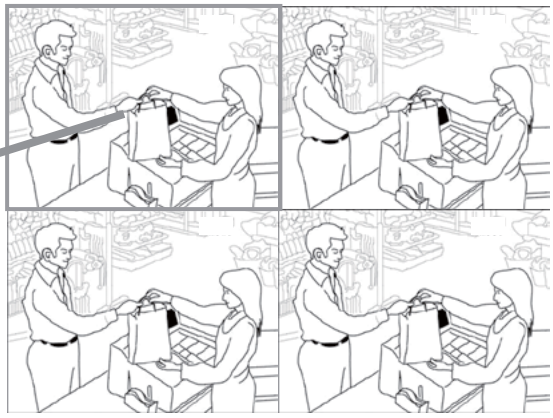
- 「DS-J VIEWER」の後に再生中のファイル名を表示します。

⑤ メニューバー

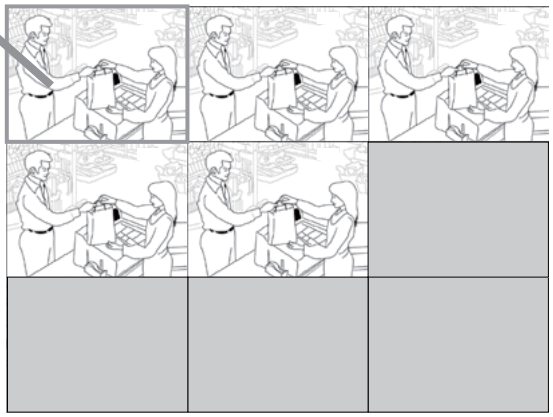
- 各メニューの項目とその用途は次ページをご覧ください。

【1画面表示】

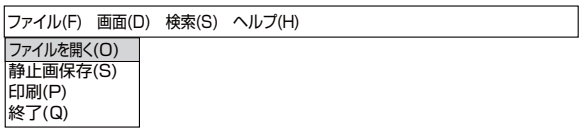
【4分割画面表示】



【9分割画面表示】

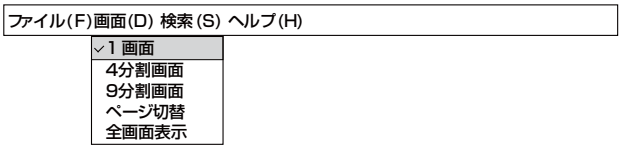


■ [ファイル (F)] メニューの項目と用途



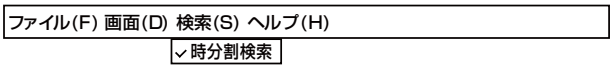
項　目	用　途
ファイルを開く (O)	再生するファイルを開くときに選択・実行します。(→ 26 ページ)
静止画保存 (S)	一時停止した映像を静止画像 (JPEG) として保存するときに選択・実行します。(→ 29 ページ)
印刷 (P)	静止画像を印刷するときに選択・実行します。(→ 29 ページ)
終了 (Q)	DS-J VIEWER を終了するときに選択・実行します。

■ [画面 (D)] メニューの項目と用途



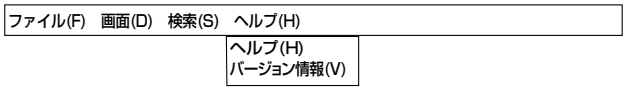
項　目	用　途
1 画面	再生中、映像ウィンドウの画面数を変更するときに選択・実行します。4分割／9分割は、複数チャンネルが保存されているときにのみ変更できます。選択した項目の左側にチェックマークが付きます。
4 分割画面	
9 分割画面	
ページ切り替え	映像ウィンドウに表示するページ (チャンネル) を切り替えます。(→ 28 ページ)
全画面表示	映像ウィンドウを全画面表示します。全画面表示のときは、画面をクリックすると簡易的なメニューバーが表示されます。

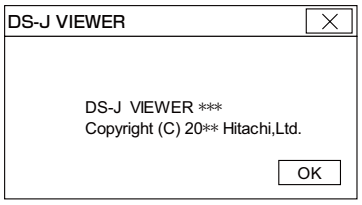
■ [検索 (S)] メニューの項目と用途



項　目	用　途
時分割検索	カレントチャンネル（操作対象になっている映像ウィンドウ）の映像検索を行うときに選択･実行します。(→ 30 ページ) 映像検索時は左側にチェックマークが付きます。

■ [ヘルプ (H)] メニューの項目と用途

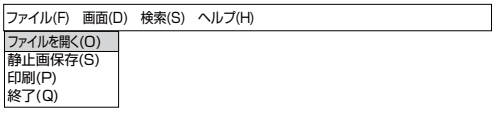


項　目	用　途
ヘルプ (H)	DS-J VIEWER の取り扱いを確認するときに選択・実行します。「取扱説明書 .txt」ファイルを開きます。
バージョン情報 (V)	バージョン情報画面を開くときに選択・実行します。 バージョン情報画面上の [OK] ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。 **バージョン情報画面** 

再　生

再生する

1　メニューバー [ファイル (F)] − [ファイルを開く (O)] を選択・実行する

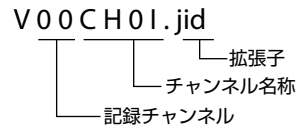


2　再生するファイルを選ぶ

ファイルを開く画面が表示されますので、再生するファイルを選択します。
外部ストレージに一括保存した映像ファイルは、拡張子が「jid」のファイルを選んでください。

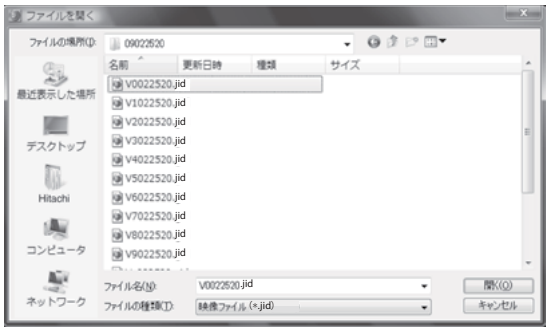
お知らせ

- **拡張子が「jid」のファイル名称は、記録チャンネルとチャンネル名称で構成されます。**

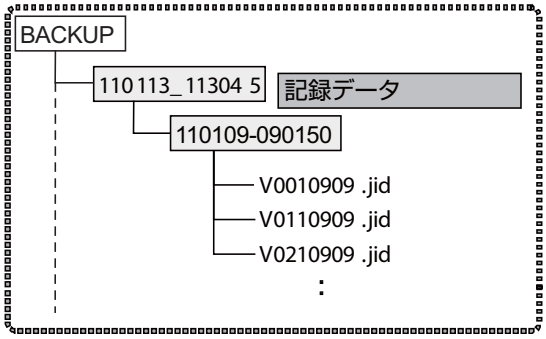


- **メイン画面はファイルを開く画面表示中、操作できません。**

ファイルを開く画面



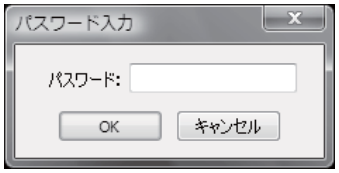
【例：映像を保存したとき】



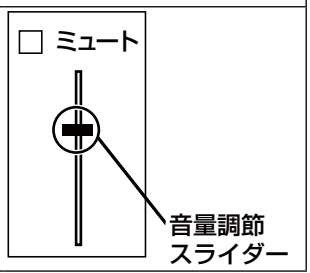
3 ファイルを開く画面内の [開く (O)] を選択・実行して再生する

選択したファイルの再生を開始します。
選択したファイルにデータプロテクトが設定されているときは、パスワード入力画面が表示されますので、ハイブリッドレコーダーで設定したパスワードを入力し、[OK] ボタンを選択・実行してください。

パスワード入力画面

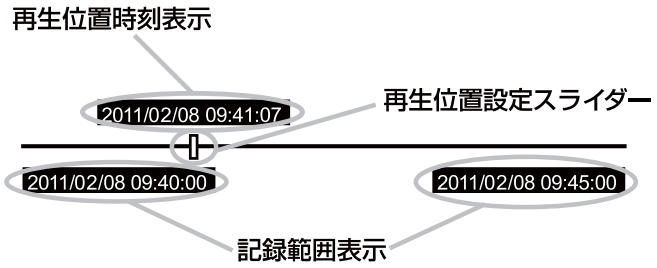


走行系制御ボタンについて

ボタン	機　能
(一時停止)	再生中の動画を一時停止し、静止画にします。 コマ送り／逆転コマ送り再生、静止画の保存、印刷は一時停止から行います。
(停止)	再生を終了します。
(コマ送り再生)	一時停止後の操作で 1 フレーム単位のコマ送り／逆転コマ送り再生になります。 (1 画面表示でのみ機能します。)
(逆転コマ送り再生)	
（早送り再生）	再生中の操作で 8 倍速の早送り／早戻し再生になります。
（早戻し再生）	
（再生 ）	一時停止、停止、コマ送り／逆転コマ送り再生、早送り／早戻し再生から再生に戻ります。
（音声 ）	音声出力は「有り」、「無し」を設定します。音声アイコンは、音声が記録されているファイルのみに活性化します。 停止時のみ操作できます。
（音量調節 ）	再生中の操作で音量調節画面を表示します。 音量調節画面上の音量調節スライダーで音量を変えることができます。 また、音量調節画面上のミュートのチェックボックスにチェックを付けると音声は出力されません。 

再生位置設定スライダーについて

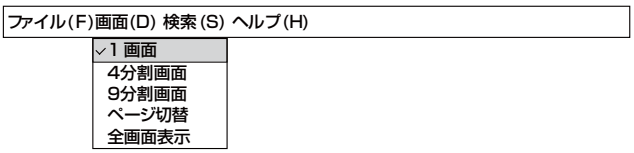
再生中に再生位置設定スライダーを移動することで、再生位置を変えることができます。
スライダーの下部には記録範囲を表示します。左側が記録開始年月日と時刻で、右側が記録終了年月日と時刻です。
再生位置設定スライダーの上部にはスライダーに追従して変化する再生位置（再生している映像の記録年月日と時刻）を表示します。
再生位置設定スライダーを移動させるときは、スライダーのつまみ部分をマウスでクリックしてください。スライダーがマウスの動きに追従して移動します。



お知らせ
- 記録時間が短い映像では、再生位置設定スライダーが動作しないことがあります。
- 再生位置設定スライダーのつまみの部分をマウスでクリックした後、マウスを動かさないとエラーメッセージを表示することがあります。
- エラーメッセージが表示されたときは、メッセージ中の OK ボタンを選択・実行し、再度再生を行ってください。

分割画面切り替え

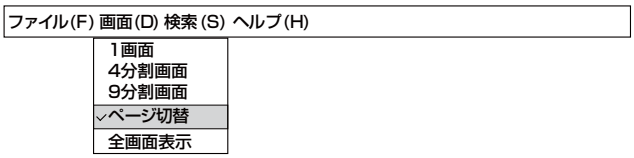
複数チャンネルが保存されているファイルを再生しているときにのみ、メニューバー [画面 (D)] から映像ウィンドウの画面表示を 1 画面表示から 4 分割画面、9 分割画面、のいずれかに変更できます。また、各分割画面から 1 画面表示にも変更できます。



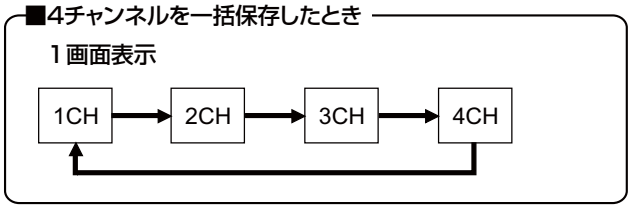
お知らせ
- 分割画面表示のとき、映像や音声が記録映像の状態などにより途切れることがあります。
- 映像や音声が途切れるときは、1 画面表示に変更してください。

ページ切り替え

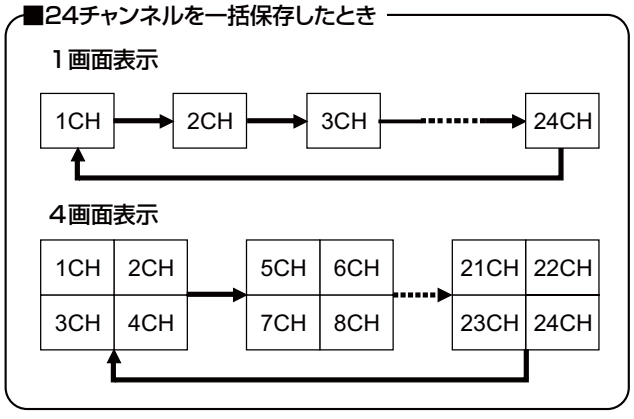
複数チャンネルが保存されているファイルを再生しているときにのみ、メニューバー [画面 (D)] から映像ウィンドウに表示するページ（チャンネル）を次のように変更できます。



■4チャンネルを一括保存したとき



■24チャンネルを一括保存したとき



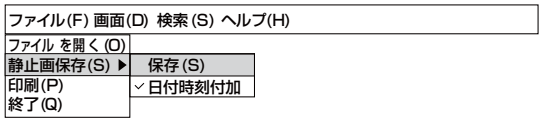
静止画保存

再生中の動画を一時停止し、静止画にしてパソコンに保存することができます。

1 再生中に [II] （一時停止）ボタンを選択・実行し、保存したいシーンを静止画にする

一時停止後、[II►]（コマ送り再生）ボタンや [◄II]（逆転コマ送り再生）ボタンで保存するシーンを選択することもできます。
※ 1 画面表示でのみ機能します。

2 メニューバー [ファイル (F)] − [静止画保存 (S)] − [保存 (S)] を選択・実行する



お知らせ
- **メニューバーの [ファイル (F)] − [静止画保存 (S)] − [日付時刻付加] を選択し、[日付時刻付加] にチェックマークを付けると日付時刻を記載した静止画が保存されます。**

3 保存する場所を指定し、保存するファイル名を入力する

名前を付けて保存画面が表示されますので、「保存する場所 (I)」で保存するフォルダを指定した後、「ファイル名 (N)」にファイル名を入力します。

名前を付けて保存画面

4 名前をつけて保存画面内の【保存 (S)】を選択・実行し、静止画を保存する

静止画は JPEG 形式 (拡張子が jpg) で保存されます。
[キャンセル] を選択・実行すると保存せず、一時停止の画面に戻ります。

印　刷

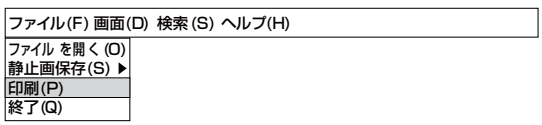
再生中の動画を一時停止し、パソコンに接続しているプリンターで印刷することができます。

! 注意
- **事前にパソコンとプリンター、印刷用紙を適切に設定・セットしてください。（デジタル写真をプリントアウトするときと同等の設定を推奨します。）印刷したものの品質（解像度、色合いなど）が、パソコンとプリンターの設定／性能および印刷用紙によって変わることがあります。**

1 再生中に [II] （一時停止）ボタンを選択・実行し、印刷したいシーンを静止画にする

一時停止後、[II►]（コマ送り再生）ボタンや [◄II]（逆転コマ送り再生）ボタンで保存するシーンを選択することもできます。
※ 1 画面表示でのみ機能します。

2 メニューバー [ファイル (F)] − [印刷 (P)] を選択・実行する



3 印刷する静止画に「タイトル」、「撮影場所」、「コメント」を加えたい場合は入力する

印刷プレビュー画面が表示されますので、必要に応じて、タイトル、撮影場所、コメントを入力してください。

次ページへつづく

印刷プレビュー画面

4 **印刷する静止画に記録日時を加えたい場合は、日付時刻付加のチェックボックスにチェックを付ける**

必要に応じて、印刷プレビュー画面上の日付時刻付加のチェックボックスにチェックを付けてください。

5 **印刷プレビュー画面内の [印刷] を選択・実行して印刷する**

[キャンセル] を選ぶと印刷せずに一時停止の画面に戻ります。

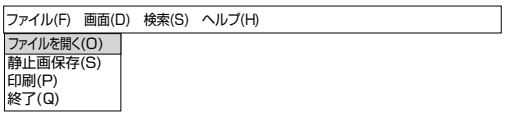
検索 （時分割検索）

選択したファイルまたは再生中のファイルの中から、見たいところを検索・抽出し、再生することができます。
同様に残しておきたい範囲の動画を検索・抽出し、保存することができます。

検索サムネイル画面の表示

再生中のファイルを検索するときは、手順 ❹ のみ行ってください。
手順 ❶ から ❸ は再生の手順です。

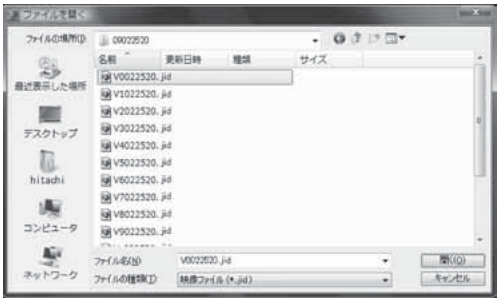
1 **メニューバー [ファイル (F)] − [ファイルを開く (O)] を選択・実行する**



2 **検索するファイルを選択する**

ファイルを開く画面が表示されますので、再生するファイルを選択します。
拡張子が「jid」のファイルを選択してください。

ファイルを開く画面



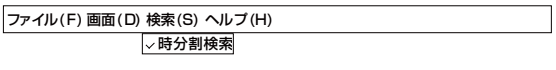
3 **ファイルを開く画面内の [開く (O)] を選択・実行して再生する**

選択したファイルの再生を開始します。
選択したファイルにデータプロテクトが設定されているときは、パスワード入力画面が表示されますので、ハイブリッドレコーダーで設定したパスワードを入力し、[OK] ボタンを選択・実行してください。

パスワード入力画面

4 **メニューバー [検索 (S)] − [時分割検索] を選択・実行する**

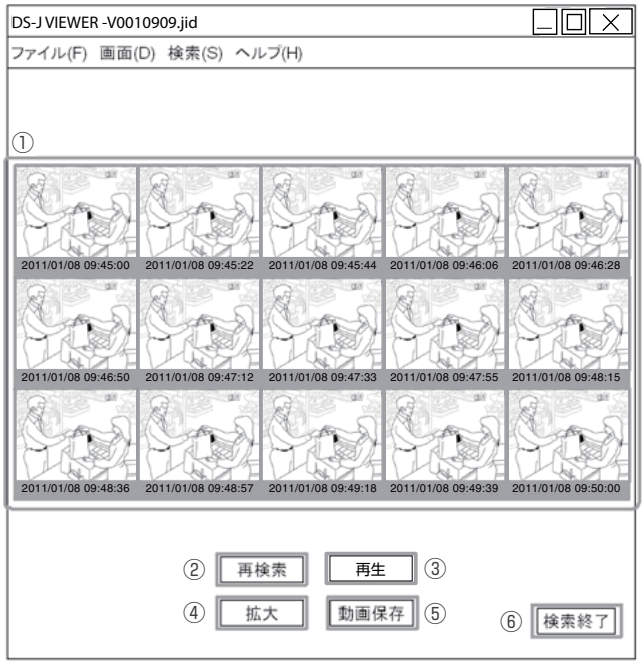
[検索 (S)] − [時分割検索] を選択・実行すると検索サムネイル画面を表示します。



検索サムネイル画面の説明

[検索 (S)] − [時分割検索] を選択・実行すると検索サムネイル画面を表示します。

検索サムネイル画面



① 検索サムネイルウィンドウ

ファイルを 15 分割し、その最初のシーンを 15 枚のサムネイルで表示します。

② 再検索 ボタン

選択範囲の再検索を行います。詳細は「検索範囲を絞り込む」（次項）をご覧ください。

③ 再生 ボタン

見たいシーンのサムネイルを選択し映像を再生します。

④ 拡大 ボタン

サムネイル画面から 1 つを選択し映像を拡大表示します。詳細は「サムネイルの拡大」（→ 32 ページ）をご覧ください。

⑤ 動画保存 ボタン

選択した範囲の動画を保存します。範囲の選択はサムネイルで行います。詳細は「範囲内の動画保存」（→ 33 ページ）をご覧ください。

⑥ 検索終了 ボタン

検索を終了してメイン画面に戻ります。

検索範囲を絞り込む

1 絞り込む範囲をサムネイルで選択する

サムネイルは 2 つ以上選択してください。
選択した範囲のサムネイルには黄色の枠がつきます。

2 再検索 ボタンを選択・実行する

選択した範囲を 15 分割し、15 枚のサムネイルで表示します。

見たいシーンからの再生

1 見たいシーンのサムネイルを選択し、

再生 ボタンを選択・実行する

選択したサムネイルには黄色の枠がつきます。

サムネイルの拡大

1 **拡大するサムネイルを選択し、 拡大 ボタンを選択・実行する**

選択したサムネイルには黄色の枠がつき、拡大表示します。
拡大表示したサムネイルを更に拡大表示するときは、拡大されたサムネイルの上にカーソルを置き、マウスの右クリックまたは、それに相当する操作で拡大率指定メニューを表示させ、拡大率を選択してください。
カーソルの位置を中心に拡大します。

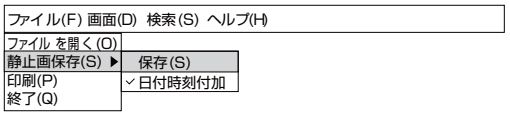
拡大表示を終了するときは、拡大率指定メニューで (マウスの右クリック) から「拡大終了」を選択してください。または、サムネイル拡大画面の [×] を押してください。

サムネイル画面からの保存

1 **保存するサムネイルを 1 つ選択する**

選択したサムネイルには黄色の枠がつきます。

2 **メニューバー [ファイル (F)] − [静止画保存 (S)] − [保存 (S)] を選択・実行する**



お知らせ • **メニューバーの [ファイル (F)] − [静止画保存 (S)] − [日付時刻付加] を選択し、[日付時刻付加] にチェックマークを付けると日付時刻を記載した静止画が保存されます。**

3 **保存する場所を指定し、保存するファイル名を入力する**

名前を付けて保存画面が表示されますので、「保存する場所 (I)」で保存するフォルダを指定した後、「ファイル名 (N)」にファイル名を入力します。

名前を付けて保存画面

4 **名前を付けて保存画面内の [保存 (S)] を選択・実行し、静止画を保存する**

静止画は JPEG 形式 (拡張子が jpg) で保存されます。
[キャンセル] を選択すると保存しないで検索サムネイル画面に戻ります。

範囲内の動画保存

1 残しておきたい範囲をサムネイルから選択する

サムネイルは 2 つ以上選択してください。
選択した範囲のサムネイルには黄色の枠がつきます。

2 動画保存 **ボタンをクリックする**

3 保存するフォルダを選択する

フォルダの参照画面が表示されますので、保存するフォルダを選択します。
新しいフォルダを作成して保存するときは、[新しいフォルダの作成（M)] を選択して、フォルダを作成してください。

フォルダの参照画面

4 フォルダの参照画面上の [OK] を選択・実行して動画を保存する

音声は保存されません。拡張子は「jid」になります。

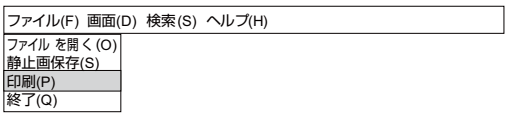
サムネイルの印刷

! 注意
- **事前にパソコンとプリンター、印刷用紙を適切に設定・セットしてください。（デジタル写真をプリントアウトするときと同等の設定を推奨します。）**
- **印刷したものの品質（解像度、色合いなど）が、パソコンとプリンターの設定／性能および印刷用紙によって変わることがあります。**

1 印刷するサムネイルを 1 つ選択する

選択したサムネイルには黄色の枠がつきます。

2 メニューバー [ファイル (F)] − [印刷 (P)] を選択・実行する



3 印刷する静止画に「タイトル」、「撮影場所」、「コメント」を加えたい場合は、文字を入力する

印刷プレビュー画面が表示されるので、必要に応じて、タイトル、撮影場所、コメントを入力してください。

印刷プレビュー画面

4 印刷する静止画に記録日時を加えたい場合は、日付時刻付加のチェックボックスにチェックを付ける

必要に応じて、印刷プレビュー画面上の日付時刻付加のチェックボックスにチェックを付けてください。

5 印刷プレビュー画面内の [印刷] を選択・実行して印刷する

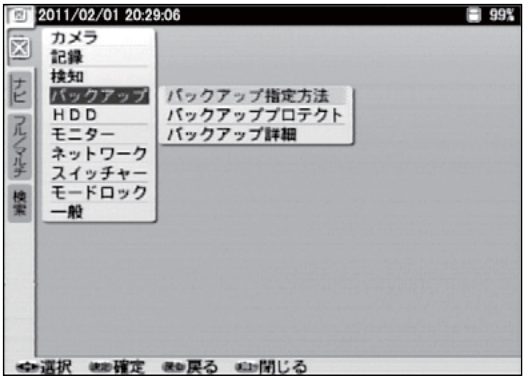
印刷プレビュー画面下の [印刷] を選択・実行して静止画を印刷します。
[キャンセル] を選択・実行すると、印刷せずに検索サムネイルの画面に戻ります。

6 自動バックアップ

ハードディスク内のデータを本機の拡張端子に接続した外部ストレージに自動でバックアップします。
自動バックアップは、記録に関係なく指定時間になるとバックアップを開始する「スケジュール」と、記録中に同時にバックアップを行う「同時バックアップ」の２種類です。
バックアップデータはナビメニュー「バックアップ再生」及び、パソコンで見ることができます。

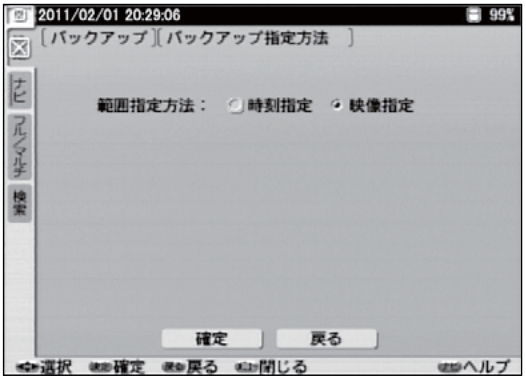
! 注意
- **H.264 を選択しているとき、同時バックアップは行えません。**
- **同時バックアップは、JPEG の HDD のみ対応しています。**
- **DVD-R は自動バックアップに対応しておりません。**
- **外部ストレージの容量がいっぱいになったときはバックアップが停止します。**
- **同時バックアップ、スケジュールバックアップともに、チャンネルの設定はできません（記録しているすべてのチャンネルが対象となります）。**
- **外部ストレージが接続されていないと、自動バックアップは行いません。**
- **外部ストレージのアクセスランプ点灯中は、外部ストレージを取りはずさないでください。**
- **保存中に再生やフル/マルチ操作を行うと保存を中断する場合があります。**

1 メニュー から【設定】を選び 決定 、【バックアップ】から【バックアップ指定方法】を選び 決定



「バックアップ：バックアップ指定方法」画面が表示されます。

2 「バックアップ指定方法」を選び 決定



バックアップの開始 / 終了位置の指定方法を設定します。指定方法は時刻指定と映像指定の２通りあります。

【時刻指定】　：バックアップ時刻および CH で指定します。

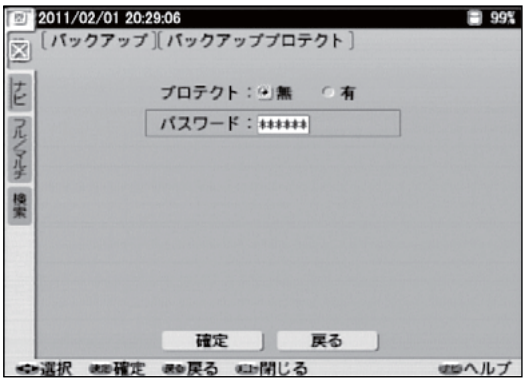
【映像指定】　：映像を再生し、開始点および終了点を指定します。

3 【確定】を選び 決定

確認画面が表示されます。
【OK】を選び 決定 を押すと、設定内容が保存され、メニュー画面に戻ります。

お知らせ
- **ナビメニューからのバックアップ記録時、映像指定か時刻指定どちらか指定した方法でバックアップ開始 / 終了を設定しバックアップ記録を行ってください**

4 【バックアッププロテクト】を選び 決定 、「プロテクト」を選び 決定



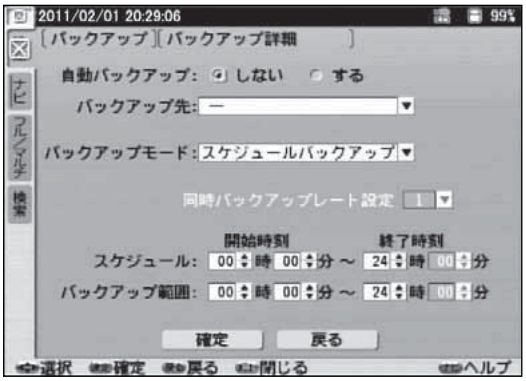
【無】　：プロテクトしない。
【有】　：プロテクトする。
プロテクトを「有」に設定した場合、ソフトウェアキーボードが表示されます。
文字入力は、ソフトウェアキーボードで入力します。
「ID とパスワードを設定する」をご覧ください。（→設定編 97 ページ）

【パスワード】：任意の半角英数字 6 ～ 16 文字を入力します。

5 【確定】を選び 決定

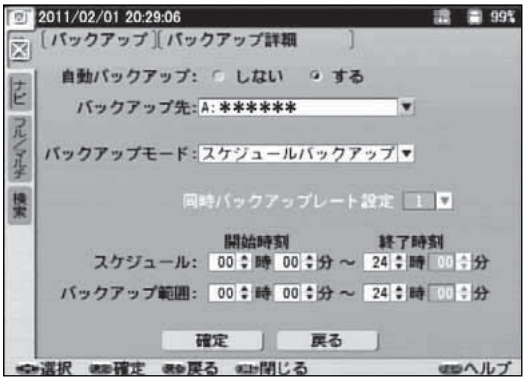
確認画面が表示されます。
【OK】を選び 決定 を押すと、設定内容が保存され、メニュー画面に戻ります。

6 【バックアップ詳細】を選び 決定 、「自動バックアップ」を選び 決定



【しない】　：自動バックアップしない。
【する】　：自動バックアップする。

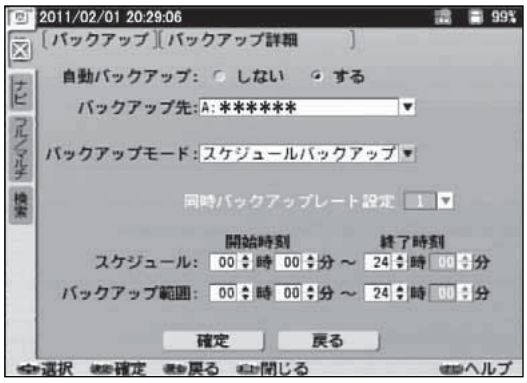
7 「バックアップ先」を選び 決定



A ～ J ドライブで、拡張端子に接続されているドライブを選んでください。
- バックアップ先は、接続中の外部ストレージ名が表示されます。

お知らせ
- **手順2「バックアップ指定方法」で設定した内容は、20 ページの手順4で「開始日時」、「終了日時」を選ぶ画面に反映されます。【スケジュールバックアップ】でバックアップ範囲を設定する場合は時刻指定のみとなり、【バックアップ指定方法】で設定した内容は影響しません。**

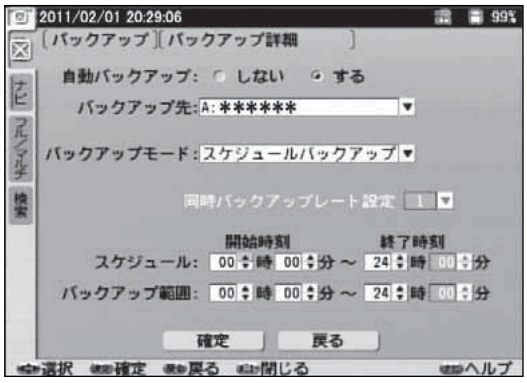
8 「バックアップモード」を選び 決定



【スケジュールバックアップ】　：設定された開始時刻と終了時刻期間に、記録済みの映像をバックアップします。
【同時バックアップ】　：ハードディスクに記録すると同時にバックアップします。

同時バックアップの記録レートを選びます。
【1】：1 枚／秒
【2】：2 枚／秒
- 「通常記録の記録レート」＞「同時バックアップの記録レート」の場合、同時バックアップの記録レートで記録されます。
  また「通常記録の記録レート」<「同時バックアップの記録レート」の場合は、通常記録の記録レートで記録されます。
- 例えば、通常記録の記録レートが【1】の時には、同時バックアップの記録レートを【2】に設定しても、実際に記録されるレートは【1】になります。
- ここで設定する記録レートは同時バックアップ用のものです。スケジュールバックアップは実際に記録されているレートのままバックアップされます。

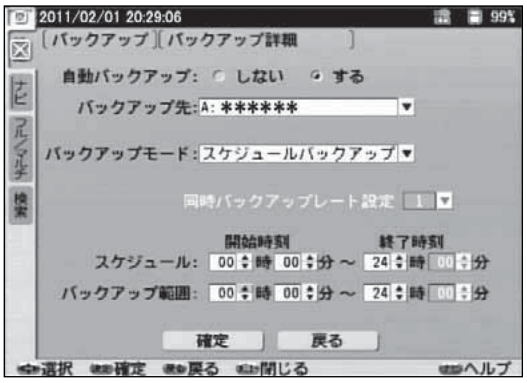
9 「スケジュール」を選び 決定



バックアップする開始時刻と終了時刻を設定します。

次ページへつづく

10 「バックアップ範囲」を選び 決定



記録中にバックアップする開始時刻と終了時刻を設定します。

11 【確定】を選び 決定

確認画面が表示されます。

【OK】を選び 決定 を押すと、設定内容が保存され、メニュー画面に戻ります。

お知らせ

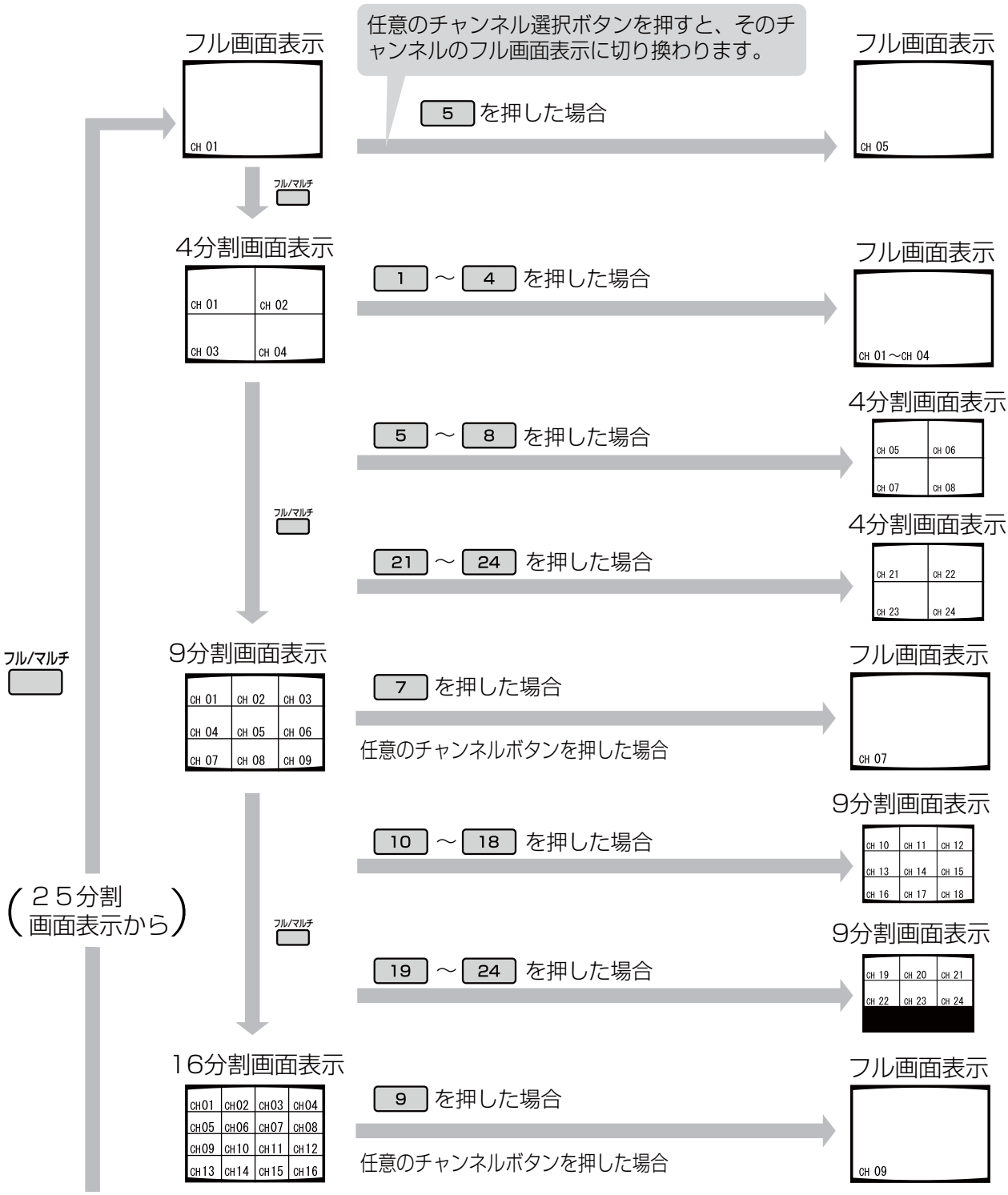
- 保存を中止したいときは、自動バックアップを「しない」にしてください。
- ワーニング情報に「未フォーマットストレージ」と表示されたときは、パソコン（FAT32 ファイルシステム）で初期化してお使いください。ただし、外部ストレージ内のデータは、すべて消去されます。
- スケジュールは記録していない時間に設定してください。記録中に設定すると、時間がかかる場合があります。
- スケジュール終了時刻になってもバックアップが終了していない場合、バックアップは中断されます。
- スケジュール開始・終了時刻と記録範囲の開始・終了時刻が重複またはスケジュールの開始・終了時刻がバックアップ記録範囲の開始・終了時刻より前に設定されている場合は設定不可です。
  またバックアップ記録の終了時刻とスケジュール開始時刻がまったく同じ場合も設定不可です。
- 日にちをまたぐ設定は可能です。

5章 その他の使いかた

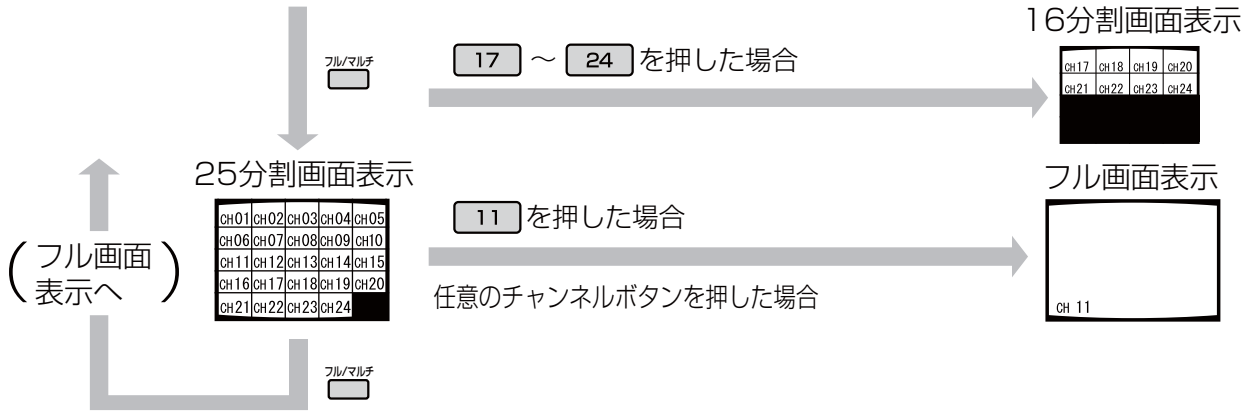
1 ライブ画面の使いかた

モニター画面を切り換える

フル/マルチや、［チャンネル選択］ボタン（1〜24）を押すたびに、次のように表示する画面が切り換わります。
フル画面表示：1 つの映像をモニター画面いっぱいに表示します。
分割画面表示：入力されている複数の映像を一度に最大 24 画面まで表示することができます。



次ページへつづく



お知らせ
- メニュー画面の【フル／マルチ】を選んで画面構成を変更することができます。（→ 40 ページ）
- 入力映像がないチャンネルは、黒く表示されます。
- メニュー画面の設定－カメラ－カメラ構成で「設定ＣＨ」を「－」に設定したチャンネルは黒く表示されます。また、フル画面表示はできません。
- マスクを設定しているチャンネルは黒く表示され、フル画面も黒く表示されます。
- 接続されるカメラやカメラ駆動ユニットによっては、画面を切り換えたときに画面が乱れることがあります。

！注意
- IP カメラの場合、画面切換後、出画するまでに約 1 ～ 2 秒かかることがあります。

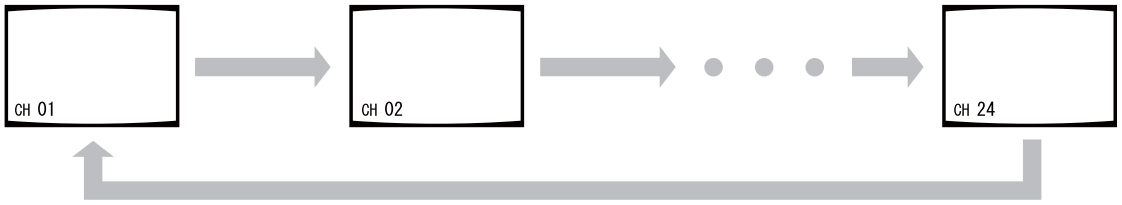
自動切換をする

画面の自動切換を開始または解除します。

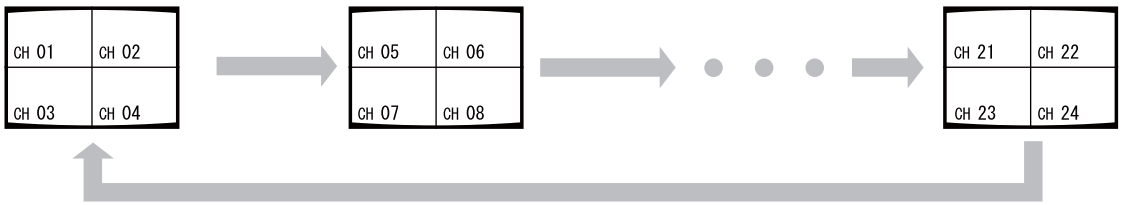
1 フル/マルチ を押してフル画面、または 4 分割画面、9 分割画面、16 分割画面にして、 自動切換

25 分割画面では、自動切換はできません。
入力されている映像が順次自動的に切り換わっていきます。

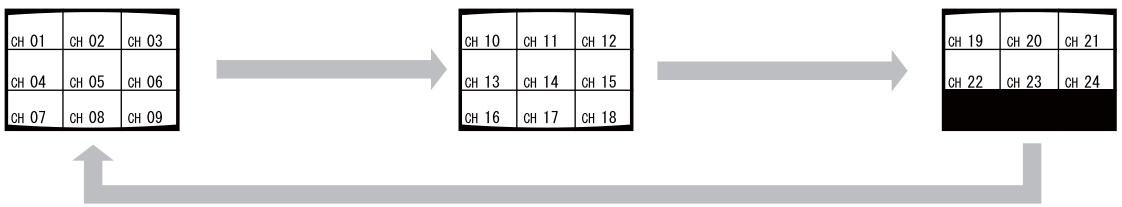
●フル画面表示の場合



●4分割画面表示の場合



●9分割画面表示



●16分割画面表示

自動切換解除

もう一度 [自動切換] または、[1] ～ [24] を押すと、解除されます。

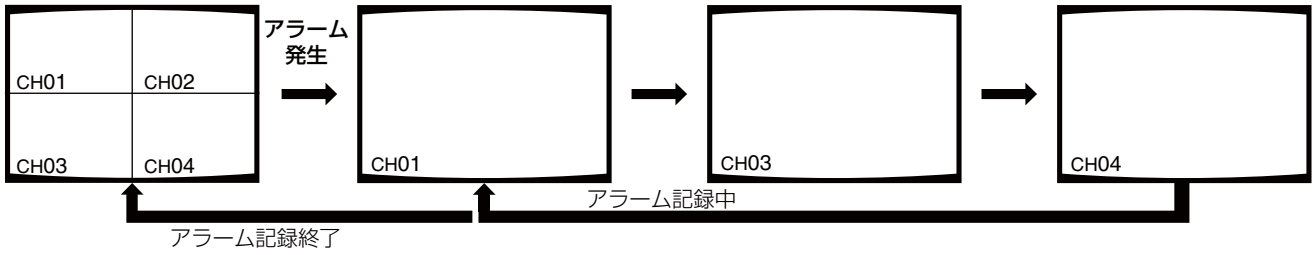
お知らせ
- メニュー画面の【フル／マルチ】を選んで自動切換を変更することができます。(→ 40 ページ)
- 未登録チャンネルやスイッチャーの設定でスキップ設定したチャンネルは、表示されません。
- 再生中は自動切換機能が働きません。

! 注意
- IP カメラの場合、切換時間が短いと表示されない場合があります。この場合は、切換時間を 5 秒以上にしてください。(→設定編 64 ページ)

アラーム入力時の画面の表記について

アラーム入力時のライブ表示

分割画面表示 (4 分割、9 分割、16 分割、25 分割) のときにアラームが発生した場合、アラーム記録中のチャンネルをフル画面表示します。下記の「アラーム保留モード」を参照してください。
アラーム記録中のチャンネルが複数ある場合は、各チャンネルを順次切換えてフル画面表示します。
例）記録するチャンネルを CH1、CH3、CH4 に設定した場合



アラーム切換期間で設定した時間の経過後は、アラーム入力前の画面に戻ります。

お知らせ
- アラーム保留表示が点灯している場合は、アラームが発生してもフル画面表示に切り換わりません。
- スイッチャーの設定でスキップ設定しているチャンネルは画面切り換え表示できません。

アラーム保留について

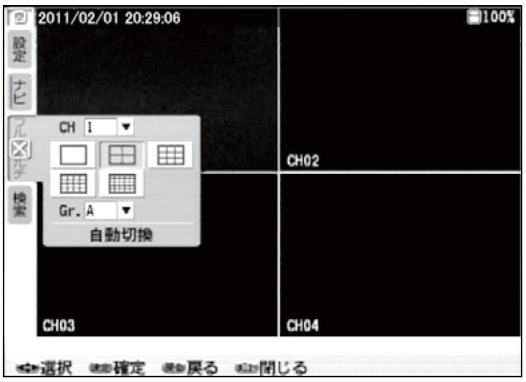
「アラーム切換期間」で【切換無】を選択することで、アラーム発生後に画面切り換えを止めることができます。(→設定編 64 ページ)

- アラーム保留中は［チャンネル選択］ボタン（[1] ～ [24]）、[フル/マルチ]の切り換えが可能です。

画面構成を変更する

メニュー画面の【フル／マルチ】を選択して、現在の画面表示を変更します。

1 (メニュー) から【フル／マルチ】を選び 決定



「CH」：【1】～【24】
- 選択したチャンネルに切り換わります。

「画面表示」：フル画面、4 分割、9 分割、16 分割、25 分割
- 選択した分割画面に切り換わります。

「Gr」：【A】～【F】
- グループ設定したグループ画面に切り換わります。

「自動切換」
- モニター画面の自動切換の開始 / 停止を行います。

お知らせ • 【フル / マルチ】での表示項目は、選択項目であり現在の状態を示すものではありません。

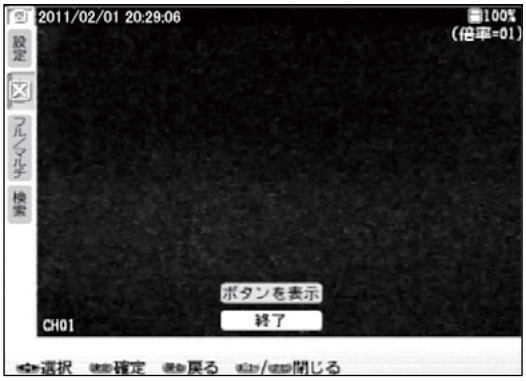
2 映像をズーム表示する

フル画面時（ライブ映像／再生映像／静止画／記録同時再生）、映像を拡大して表示します。
- ズーム機能が働くのは、フル画面（1 画面時）の場合のみです。

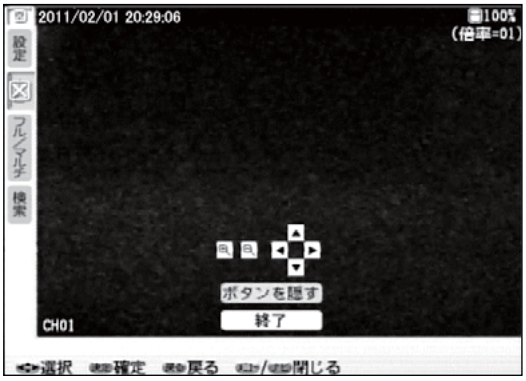
1 ナビゲーション から「ズーム」を選び 決定

「ズーム」画面が表示されます。

2 【ボタンを表示】を選び 決定



3 【倍率アイコン】または【位置変更アイコン】を選び 決定



拡大する倍率を変更します。
【🔍】：映像を拡大します。
【🔍】：映像を縮小します。
- 倍率はメガピクセルカメラの時は 01、02、04、08、16 の 5 段階、それ以外のカメラの時は 01、02、04、08 の 4 段階に変更することができます。ズーム拡大率（倍率）は、画面上に表示されます。

【▲】【▼】【◀】【▶】：上下左右に移動します。
ズーム位置を変更します。
- ズーム位置はＣＨごとに保持され、電源をＯＦＦにすると、初期位置 (画面中央) に戻ります。

【ボタンを隠す】：操作ボタンを消します。

4 【終了】を選び 決定

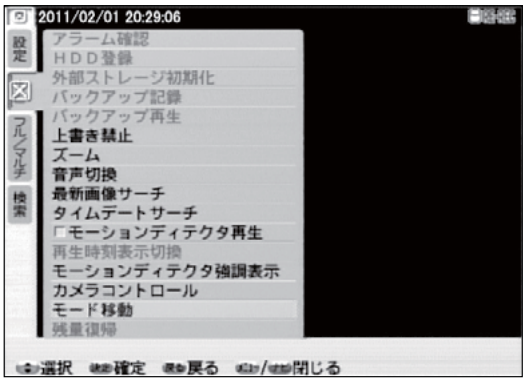
設定内容が保存され、ナビメニュー画面に戻ります。

注意 • 倍率 =01 の時は、上下左右に移動できません。

3 モードを切り換える（モード移動）

現在のモードから他のモードへ切り換えるには「ナビメニュー」から「モード移動」を選びます。ID が設定されている場合は ID、パスワードの入力が要求されます。

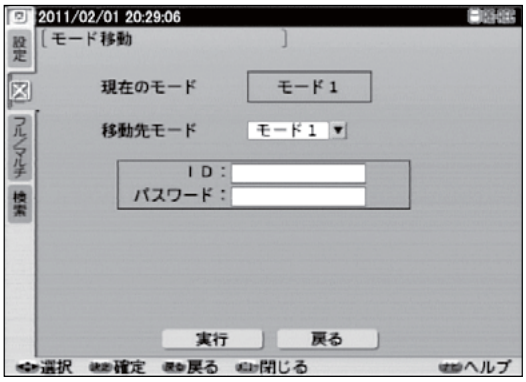
1 ナビゲーション ◯ から［モード移動］を選び 決定



「モード移動」画面が表示されます。

2 「移動先モード」を選び 決定

移動したいモードを「モード 1 ～ 5」の中から選び［実行］を押します。

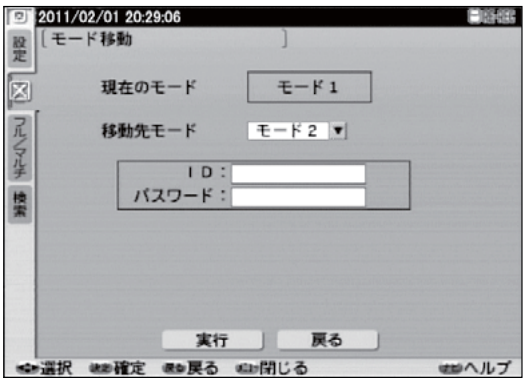


- 移動するモードにパスワードが設定されていない時は、手順4に進みます。
- 移動するモードに ID とパスワードが設定されている時は、手順3に進みます。

3 「ID」と「パスワード」を選び 決定

ソフトウェアキーボードが表示されます。
文字入力は、ソフトウェアキーボードで入力します。

- 「ID とパスワードを設定する」をご覧ください。（→設定編 97 ページ）



移動するモードに設定した ID とパスワードを入力します。（ID を設定していない場合は、パスワードのみ）

- ID およびパスワードは、最大 16 文字の英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）を入力します。

お知らせ

- **モード 2 ～モード 5 に変更したときは、フロントパネルのモードロックランプ（緑色）が点灯し、MODE が表示されます。**
- **パスワードを間違って入力したときは、「ID またはパスワードが不正です」と表示されます。正しい ID とパスワードを再度入力してください。**
- **モードロック中でも次の操作は可能です。**
  - **LAN 経由の操作**
  - **アラーム入力（モーションディテクタ、アラーム入力）による記録**
  - **ナビゲーション ◯ を押して行うモード変更操作**

4 ［実行］を選び 決定

「モード○へ移動しました」と表示されます。

4 ブザー音を止める

1 ナビゲーション ◯

［セキュリティナビゲーション］ボタンを押すとブザー音が止まります。

5 警告表示を消す

警告表示を【確認まで】に設定した場合、「アラーム確認」を行うことで画面左上の警告表示を消すことができます。

1 ナビゲーション ◯ から［アラーム確認］を選び 決定

画面左上に表示されているアラーム情報が消えます。

6 Web ブラウザ操作

クライアント接続しているパソコンの WEB ブラウザ Internet Explorer から、本機の設定を行うことができます。

お知らせ
- Internet Explorer のバージョン 6 ～8に対応しています。
- Internet Explorer からは、ライブ映像の確認、再生映像の確認、検索、バックアップ、ダウンロードなどはできません。
- パソコンから設定している間は、本体のボタン操作は無効になります。

1 パソコンの Internet Explorer を起動し、アドレス入力欄に本機の専用 URL を入力

Internet Explorer のアドレス入力欄に「http://xxx.xxx.xxx.xxx/index.html」と入力すると認証画面が表示されます。（実際には xxx.xxx.xxx.xxx 部分に本機の IP アドレスを入力します。）

2 特権ログイン ID とパスワードを入力

認証画面に特権ログイン ID とパスワードを入力すると操作画面が表示されます。
表示にしたがって操作してください。

7 Fine Vision XD Viewer ダウンロード

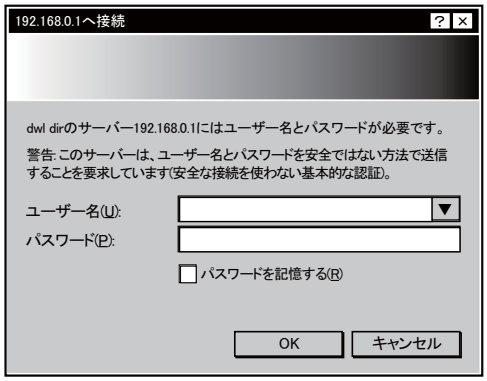
Fine Vision XD Viewer では、カメラのライブ表示、ハイブリッドレコーダーの記録／再生、記録データのダウンロードを行うことができます。Fine Vision XD Viewer は、本機よりダウンロードすることができます。

1 パソコンの Internet Explorer を起動し、アドレス入力欄に本機の専用 URL を入力

Internet Explorer のアドレス入力欄に「http://xxx.xxx.xxx.xxx/dwl/cgi_dwl_menu.cgi」と入力すると認証画面が表示されます。（実際には xxx.xxx.xxx.xxx 部分に本機の IP アドレスを入力します。）

2 特権ログイン ID とパスワードを入力、【OK】をクリック

認証画面に特権ログイン ID とパスワードを入力して［OK］をクリックします。



「ダウンロード画面トップ」が表示されます。

3 ［ダウンロード］をクリック 決定

「ダウンロードメニュー画面」が表示されます。

4 Fine Vision XD Viewer の
［ダウンロード］をクリック

5 ［保存 (S)］をクリック、ダウンロードを
開始します。

ファイルを保存して実行すると、圧縮ファイルが解凍されます。解凍されたファイルのインストール手順に従い、インストールを実行してください。

操作方法は、解凍されたファイルの取扱説明書を参照してください。

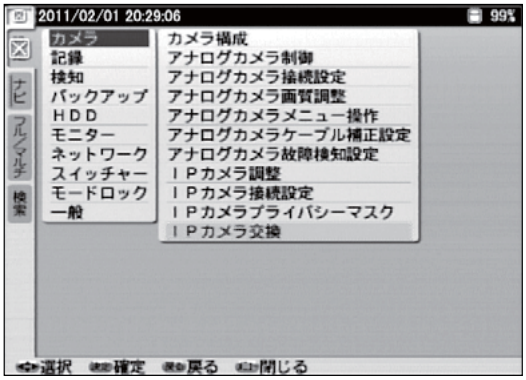
8 DS-J VIEWER ダウンロード

Fine Vision XD Viewer を用いて PC に保存したファイルは DS-J VIEWER で再生することができます。
Fine Vision XD Viewer と同様の手順で本メニューからダウンロードしてください。
（再生方法は 23 ページをご覧ください。）

9 IP カメラの交換

日立製 IP カメラは、設定を引き継いで交換することができます。
あらかじめ、交換対象である運用中の IP カメラを取り外して、代替品の IP カメラを接続し未登録カメラとして認識させた状態で、以下の手順を行ってください。

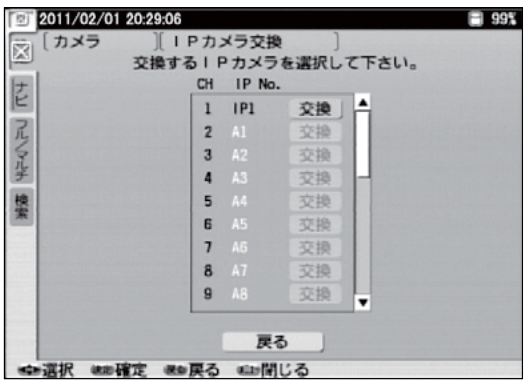
1 (メニュー) から［設定］を選び 決定 、
［カメラ］から［IP カメラ交換］を選び 決定



「カメラ：IP カメラ交換」画面が表示されます。

2 交換する IP カメラの［交換］を選び 決定

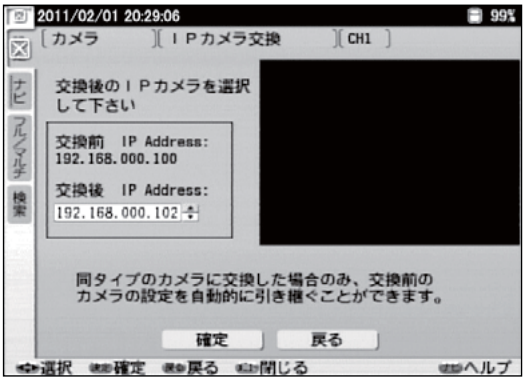
認証画面に特権ログイン ID とパスワードを入力して［OK］を選び 決定 を押します。



「カメラ：IP カメラ交換：CH ＊＊」画面が表示されます。

次ページへつづく

3 交換後の IP アドレスを選択



4 ［確定］を選び 決定

確認画面が表示されます。
【OK】を選び 決定 を押すと、設定内容が保存され、IP カメラ交換画面に戻ります。

お知らせ 交換前のカメラと異なる種別のカメラに交換する場合、交換前のカメラに関わる設定はすべて初期値に戻ります（確認画面が表示されます）。
同じ種類のカメラの場合は、BASIC 認証設定のみ初期値となります。

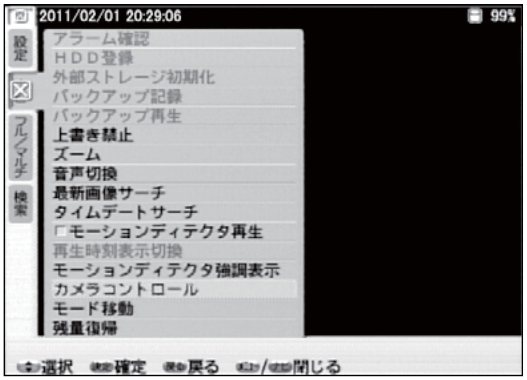
！注意 IP カメラの追加または交換時に、"IP 取得方法（→設定編 105 ページ）" が『マニュアル』の場合、接続するカメラによっては、IP アドレスが重複する場合があります。
そのまま運用すると正常に映像の表示 / 記録ができなくなりますので、IP アドレスが重複した場合は、以下の手順に従って IP アドレスの設定変更を行なってください。
＜手順 1＞
「カメラ構成」で IP アドレスが重複したカメラの CH を確認します。
＜手順 2＞
新たに接続したカメラをいったん外します。
＜手順 3＞
レコーダーの電源を切り、再度電源投入します。
＜手順 4＞
「IP カメラ接続設定」（→設定編 126 ページ）で、手順 1 で確認したカメラの CH を選択し、重複しない IP アドレスに設定変更します。
＜手順 5＞
手順 2 で外したカメラの接続をもとに戻します。
＜手順 6＞
「カメラ構成」で追加カメラの設定 CH を「-」から所望の CH に設定し、確定します。（追加カメラが CH 登録されます。）

10 パン・チルト・ズームカメラを制御する

接続したパン・チルト・ズームカメラを本機の「カメラコントロール」で制御することができます。
カメラを操作するためには、事前に操作するパン・チルト・ズームカメラの設定を行ってください。（→設定編 48 ページ）
各設定の詳細はパン・チルト・ズームカメラの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ
- カメラ操作中は、再生することはできません。
- 接続しているカメラ (機種) によって、制御できる機能が異なります。
- 異なる機種のパン・チルト・ズームカメラを混在して使用することはできません。

1 ナビゲーション から［カメラコントロール］を選び 決定



「カメラコントロール」画面が表示されます。

2 操作する機能を選び 決定

■「CH」　：操作するカメラのチャンネル（CH）を選びます。
- チャンネル名は、「CH 個別」または「CH 定型名称」で設定されている名称が表示されます。
- ※「カメラ設定」で、ID 設定をしたカメラのみカメラ操作が可能になります。

■「パン」

「←」、「→」を選択し、 決定 を押すと左右に移動します。
【←】　：左側に移動します。
【→】　：右側に移動します。

■「チルト」

「↑」、「↓」を選択し、 決定 を押すと上下に移動します。

【↑】　：上側に移動します。
【↓】　：下側に移動します。

■「ズーム」

[🔍]、[▲] を選択し、 決定 を押すとズームイン / ズームアウトします。

停止するときは、もう一度、 決定 を押します。
TELE [🔍] ：ズームインします。
WIDE [▲] ：ズームアウトします。

■「フォーカス」

AF（オートフォーカス）または MF（マニュアルフォーカス）でフォーカス調整を行います。
・AF（オートフォーカス）

「実行」を選択し、 決定 を押すと、AF モードに切り換わります。
・MF（マニュアルフォーカス）

「↓」または「↑」を選択し、 決定 を押してフォーカス位置を設定します。

決定 を押すと移動し、もう一度押すと停止します。

【↓】　：フォーカス位置が手前側に移動します。
【↑】　：フォーカス位置が奥側に移動します。

■「プリセット移動」

プリセット登録した位置へ移動します。

登録したプリセットを選択し、 決定 を押すと登録した位置へ移動します。
【ホーム】、【P1】～【P6】から選択します。

■「プリセット登録」

任意の位置に設定した状態（パン / チルト、ズーム、フォーカス）を「ホーム」、「P1」～「P 6」に登録します。

「登録開始」を選択し、 決定 を押すと「プリセット登録」画面が表示されます。
【ホーム】、【P1】～【P6】から選択します。
操作するカメラが DMP-1235 の場合は、「P1」はありません。

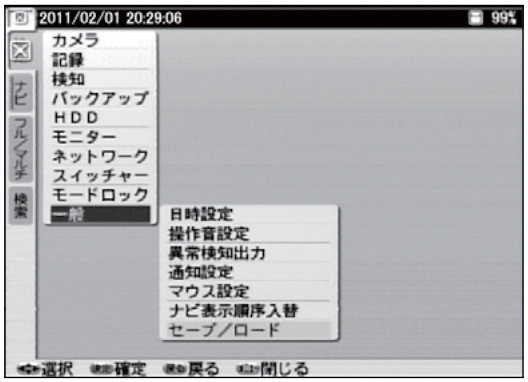
3 **［終了］を選び** 決定

メニュー画面に戻ります。

11 セーブ / ロードの設定

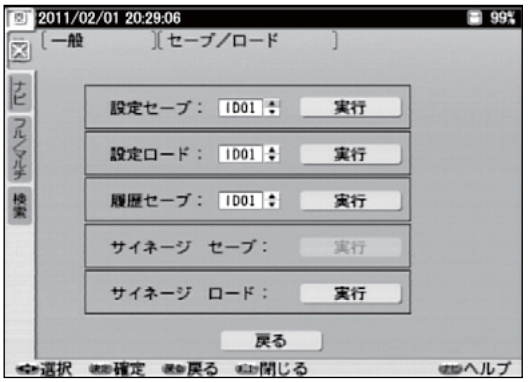
本機の設定データを USB メモリに保存、または USB メモリ内にセーブした設定データを読み込むことができます。
セーブした設定データは、別のハイブリッドレコーダーに反映させることができます。

1 (メニュー) **から［設定］を選び** 決定 **、**
［一般］から［セーブ／ロード］を選び 決定



「一般：セーブ／ロード」画面が表示されます。

2 **設定項目の保存ファイル ID を選び** 決定 **、**
［実行］を選び 決定



【設定セーブ】　：保存ファイル ID を指定して USB メモリにセーブします。
【設定ロード】　：保存ファイル ID を指定して USB メモリからロードします。記録中は設定ロードできません。
【履歴セーブ】　：保存ファイル、ID を指定して USB メモリにセーブします。

次ページへつづく

【サイネージセーブ】: HDD に登録されている簡易デジタルサイネージデータを USB メモリにセーブします。
【サイネージロード】: ユーザーが作成した簡易デジタルサイネージデータを USB メモリからロードします。
サイネージセーブ、サイネージロードに関する説明は、「簡易デジタルサイネージ画像の取込み」（→設定編 53 ページ）を参照してください。

お知らせ
- 設定セーブは接続しているカメラ構成のまま、設定データを保存できます。設定ロードする場合にカメラ構成が異なる場合は、警告表示を行ないます。このとき、強制的に設定ロードを実行することが可能ですが、カメラ構成（カメラ種別）の異なる記録設定はクリアされてしまいます。
- カメラ構成が同一の場合でも、IP カメラ使用時は設定セーブ時の IP アドレスでロードしますので、ロード後、IP アドレスを設定し直す必要があります。
- 設定ロード時に、HDD のフォーマットやミラーリング設定が異なる場合は、警告表示を行ないますので、設定ファイルと HDD のどちらにあわせるかを選択してください。

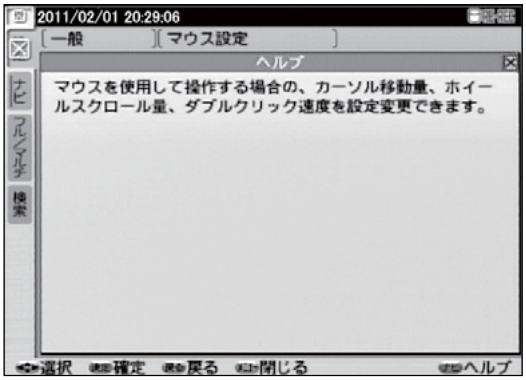
3 **［確定］を選び** 決定
確認画面が表示されます。
【OK】を選び 決定 を押すと、設定内容が保存され、メニュー画面に戻ります。

!注意
- IP カメラ接続時に設定ロードを実行した場合は、再起動後に IP カメラ接続設定（→設定編 126 ページ）で IP カメラの登録 CH を選択して CH 毎に「設定情報送信」の実行ボタンを押して IP カメラに設定を再送信する必要があります。

12 ヘルプの使い方

画面右下に「［ナビ］ヘルプ」表示がある画面では、ヘルプ画面を参照することができます。
ここでは、［設定］－［一般］－［マウス設定］を例に説明します。

1 **メニュー から［設定］を選び、** 決定
「一般」から［マウス設定］を選び 決定
ナビゲーション を押す。



ヘルプ画面が表示されます。
ヘルプ表示を閉じるときは、ナビゲーション、戻る、 決定 のいずれかを押します。

6章 付　録

1 故障かな…と思ったら

症　　状	お調べください	処　　置	参照ページ
電源ランプが点灯（赤）しない。	• 電源入力端子から、電源コードが抜けていませんか。 • 電源コードはコンセントに差し込まれていますか。	• 電源コードが電源入力端子とコンセントに差し込まれているかを確認してください。	設定編 30ページ
ボタンを押しても受け付けない。	• モードロックの設定をしていませんか。補助情報領域に MODE マークが表示しているときはモードロック中です。	• モードロック解除の操作をしてください。	設定編 96ページ
画面表示位置がおかしい。（文字が隠れている。）	• モニター出力表示位置設定は正しいですか。	•「モニター：NTSC モニター表示位置」メニューで設定してください。	設定編 54ページ
4 分割画面表示で、黒い画面がある。	• カメラの映像は入力されていますか。	• 入力されていないチャンネルは黒く表示されます。	−
	• マスクの設定をしていませんか。	• マスクの設定を解除してください。	設定編 63ページ
映像がまったくでない。	• カメラからの接続ケーブルは断線していませんか。	• ケーブルが断線していないかをご確認ください。	−
	• カメラの電源は入っていますか。	• カメラの電源が入っているかご確認ください。	−
	• モニターへの接続ケーブルが断線していませんか。	• ケーブルが断線していないかをご確認ください。	−
	• RGB 出力を SXGA に設定していませんか。	• RGB 出力を SXGA に設定した場合、映像出力端子（前面／後面）から通常の映像が出力されません。RGB 出力を XGA に設定してください。	設定編 57ページ
NTSC モニター出力映像にノイズが発生する。	• モニター側の映像設定に「3 次元 Y/C」があり、設定が「入」になっていませんか。	• 設定を「切」にしてください。	−
IP カメラの映像が出力されない。	• 本機⇔スイッチング HUB ⇔カメラ間の LAN ケーブルがきちんと挿入されていますか。	• LAN ケーブルがきちんと挿入されているかご確認ください。 • LAN ケーブルが断線していないかをご確認ください。	設定編 16ページ
	• スイッチング HUB もしくは PoE インジェクタ、AC アダプタの電源が入っていますか。	• スイッチング HUB もしくは PoE インジェクタ、AC アダプタの電源が入っているかご確認ください。	設定編 30ページ
	• 設定メニュー –「カメラ」–「カメラ構成」で IP アドレスをご確認ください。	• IP アドレスを正しく設定してください。	設定編 46ページ 設定編 126ページ
	• 設定メニュー –「ネットワーク」–「テスト」–「PING 送信テスト」でテストしてください。	• 異常の場合は、本機⇔スイッチング HUB ⇔カメラ間の接続を確認してください。	設定編 108ページ 設定編 126ページ
	• 設定メニュー –「カメラ」–「IP カメラ接続設定」で接続カメラ再認識を行ってください。	• " 未登録カメラ有り " が表示されたら、設定メニュー –「カメラ」–「カメラ構成」で ch の割り当てを行ってください。	
自動切り換えができない。	• 再生中ではありませんか。	• 再生中は、自動切り換えは、できません。	−
	• カメラの映像入力数が少なくありませんか。	• 分割表示の場合、映像入力数によって、自動切り換えをしない場合があります。	−
	• メニュー画面を表示していませんか。	• メニュー画面を消してください。	−
音声が記録できない。	• 音声の接続ケーブルは、断線していませんか。	• ケーブルが断線していないかをご確認ください。	−
	• 音声記録の設定が「無し」になっていませんか。	• 設定メニュー –「記録」–「一般」で、音声を「有り」に設定してください。	設定編 73ページ

次ページへつづく

症　状	お調べください	処　置	参照ページ
記録ができない。	• HDD 残量が 0% になっていませんか。	• ［セキュリティナビゲーション］ボタンを押してセキュリティナビゲーションメニュー画面の「残量復帰」を選んでください。ハードディスクの残量を強制的に 100%に戻します。	設定編 38 ページ
	• 映像の記録設定が「－」になっていませんか。	• 記録映像メニューで【－】をレート設定してください。	設定編 69 ページ
タイマー記録ができない。	• HDD 残量が 0% になっていませんか。	• ［セキュリティナビゲーション］ボタンを押して「セキュリティナビゲーションメニュー画面」の「残量復帰」を選んでください。ハードディスクの残量を強制的に 100%に戻します。	設定編 38 ページ
	• タイマー記録の設定がされていますか。 • タイマー記録設定時間は間違いありませんか。	• タイマー記録の設定をしてください。	設定編 75 ページ
	• タイマー予約の設定をしましたか。	• 記録メニューのタイマー記録設定画面で設定をしてください。	設定編 75 ページ
	• ［タイマー］ボタンのランプが点灯していますか。	• ［タイマー］ボタンを押してタイマースタンバイ状態にしてください。	設定編 13 ページ
外部センサーなどと連動したアラーム記録ができない。	• コントロール端子 29 ～ 44 にセンサーなどの出力が正しく接続されていますか。 • 連動記録チャンネルの設定は正しいですか。	• 正しく接続してください。 • 連動記録チャンネルを設定してください。（選んだ CH に「チェック」が入ります。）	設定編 15 ページ 設定編 17 ページ 設定編 82 ページ
	• 設定メニュー -「記録」で、画質、レートは設定されていますか。	• 正しく設定してください。	設定編 84 ページ
非常アラーム記録ができない。	• コントロール端子 26 にセンサーなどの出力が正しく接続されていますか。	• 正しく接続してください。	設定編 15 ページ 設定編 17 ページ
非常アラームのプリ記録ができない。	•「非常プリアラーム記録」が設定されていますか。	•「する」に設定してください。	設定編 39 ページ
再生中に、自動的に静止映像になってしまう。	• 記録の最後まで再生すると、自動的に静止映像になります。	―	－
再生ボタンを押すと、記録の始めに戻って再生を始める。	• 再生→停止→再生ボタンでは、停止したところから再生します。	• お好みの場所を再生したい場合は、各種サーチ機能で検索を行ってください。	9 ページ
	• 電源を入れたあとの最初の再生では、記録の始めから再生します。	―	－
逆転再生中に、自動的に静止映像になってしまう。	• 記録の最初まで逆転再生すると、自動的に静止映像になります。	―	－
外部ストレージが使えない。	• 外部ストレージは正しく接続されていますか。	• 外部ストレージを正しく接続してください。	18 ページ
	• 接続確認機器の外部ストレージを使用していますか。	• 接続確認機器をご覧ください。	設定編 198 ページ
	• 外部ストレージは、初期化されていますか。	• 外部ストレージの初期化を行ってください。	19 ページ
再生映像がスムーズに動かない。	• 記録レートが小さくありませんか。	• 記録レートを大きくしてください。	設定編 69 ページ
動きのある映像を記録再生すると残像が残る。	• プログレッシブ対応アナログカメラで、カメラ側の設定が「EVEN」になっていませんか。	• カメラ側の設定を ODD にしてください。 • EVEN/ODD の設定ができないプログレッシブ対応アナログカメラの場合は、カメラ種別の設定をノーマルに設定してください。	設定編 49 ページ

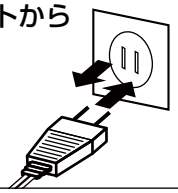
症　状	お調べください	処　置	参照ページ
アラーム記録部分のインデックスサーチができない。	• アラーム記録をしましたか。	• アラーム記録をしてください。	設定編 82ページ
	• 記録されている日付時刻範囲外を指定していませんか。	• 記録されている日付時刻範囲を指定してください。	16ページ
日時絞込みサーチができない。	• 記録されている日付時刻範囲外を指定していませんか。	• 記録されている日付時刻範囲を指定してください。	15ページ
	• 記録されていないチャンネルを指定していませんか。	• 記録されているチャンネルを指定してください。	15ページ
タイムデートサーチができない。	• 記録されている日付時刻範囲外を指定していませんか。	• 記録されている日付時刻範囲を設定してください。	10ページ
LAN 機能が使えない。	• ネットワーク設定は行いましたか。	• ネットワーク設定を行ってください。	設定編 103ページ
電波時計での調整時刻ができない（時刻が合わない）。	• 電波時計側の時刻が確定していますか。	• 電波時計を電波の受信し易い場所（窓側等）に移動し、電波時計の時刻が確定することを確認してください。	設定編 19ページ

上記以外の異常な動作が発生したときは…

リセットボタンを押す
（→設定編33ページ）

直らない

HDD電源ボタンを3秒以上押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて再び差し込む



直らない

お買い上げの販売店へご連絡ください。

2 異常検出と通知、復旧方法

本機に異常があった場合の検出内容と通知復旧方法は下表の通りです。

異常種類	ワーニング情報表示	異常内容	通知	復旧方法
EEPROM 異常	EEPROM 異常	EEPROM に異常があったことを表示	−	修理をご依頼ください。
SRAM 異常	SRAM 異常	SRAM に異常があったことを表示	−	修理をご依頼ください。
ファン異常	ファン異常	冷却ファンに異常があったことを表示	有 (機器異常)	修理をご依頼ください。
未フォーマットストレージ	未フォーマットストレージ	未フォーマットのストレージが接続されたことを表示	−	接続確認機器をお使いください。その機器のメーカーが提供している初期化ツールにてFAT32 初期化してください。
ストレージ異常	ストレージ異常 (端子 1/ 端子 2)	ストレージの異常を検出し、保護処理が働き 5V 電源を切断した場合に表示	有 (機器異常)	接続確認機器をお使いください。設定編 198 ページの注意事項をご覧ください。
レコーダ異常	レコーダ異常	一定期間に、規定回数を超える異常が発生したことを表示	有 (機器異常)	修理をご依頼ください。
カメラロスト	CH(1 ～ 24) カメラロスト	カメラからの映像入力がなくなったことを表示	有 (機器異常)	カメラとの接続をご確認ください。
カメラ異常	CH(1 ～ 24) カメラ異常	カメラ入力信号に異常があったことを表示	有 (機器異常)	修理をご依頼ください。(IP カメラのときは、IP カメラ側の設定を確認してください。)
カメラ未登録	未登録カメラ有り	未登録カメラがある場合に表示 (アナログ /IP 問わず、カメラ構成メニューで割り当てていないカメラがある場合に表示する)	−	カメラ構成画面で登録してください。
記録可能な HDD なし	記録可能 HDD なし	記録可能な HDD がない場合に表示	有	修理をご依頼ください。
HDD 性能低下	(内蔵 1/ 内蔵 2/ 外付け 1/ 外付け 2)HDD 性能低下	HDD の性能が低下し交換時期となっていることを表示	有	修理をご依頼ください。
HDD 異常	(内蔵 1/ 内蔵 2/ 外付け 1/ 外付け 2)HDD 異常	HDD に異常が発生したことを表示	有	修理をご依頼ください。
HDD 未登録	(内蔵 1/ 内蔵 2/ 外付け 1/ 外付け 2)HDD 未登録	未登録 HDD がある場合に表示	有	セキュリティーナビゲーションメニューから「HDD 登録」で登録してください。 設定メニュー「HDD」−「HDD登録」にて登録してください。
HDD 削除	(内蔵 1/ 内蔵 2/ 外付け 1/ 外付け 2)HDD 自動削除	自動削除された HDD がある場合に表示	有	修理をご依頼ください。
HDD 削除記録停止	HDD 自動削除による記録停止	故障により HDD が自動削除され記録が停止された場合に表示	有	交換したHDDを登録後、設定メニュー「HDD」−「HDD領域」−「詳細設定」にて記録停止の解除を行ってください。
外付 HDD ワンダウン	(外付け 1/ 外付け 2) ワンダウン	外付け HDD で HDD が 1 台故障したことを表示	有	修理をご依頼ください。
外付 HDD ファン異常	(外付け 1/ 外付け 2) ファン異常	外付け HDD の冷却ファンに異常があったことを表示	有	修理をご依頼ください。
未記録 CH 発生	CH(1 ～ 24) 未記録	記録設定有チャンネルにも関わらず、一定期間未記録だった場合に表示	有 (機器異常)	修理をご依頼ください。
いたずら検知	CH(1 ～ 24) いたずら検知	カメラからいたずら検知通知を受けた場合に表示	有 (機器異常)	カメラがいたずらされていないかをご確認ください。
カメラ電源ファン異常	カメラ電源ファン異常	カメラ駆動ユニットの冷却ファンに異常があったことを表示	有 (機器異常)	修理をご依頼ください。

異常種類	ワーニング情報表示	異常内容	通知	復旧方法
カメラ電源 FV 異常	カメラ電源 FV 異常	カメラ駆動ユニットの同期信号に異常があったことを表示	有 (機器異常)	修理をご依頼ください。
IP アドレス重複エラー	IP アドレス重複エラー	IP カメラの IP アドレス重複を検出時に表示	有 (メールのみ)	専用ツールで設定してください。 または、44 ページの「ご注意」をご覧いただき、IP アドレス変更を行ってください。
IP カメラ設定エラー	IP カメラ（CH1 ～ 24) 設定エラー	IP カメラへの設定失敗時に表示	有 (メールのみ)	IP カメラとの接続をご確認ください。
カメラ電源短絡保護状態	カメラ電源短絡保護状態	カメラ駆動ユニットの短絡保護が作動した	有 (機器異常)	修理をご依頼ください。
停電有り	停電有り	使用中、停電があったことを示す表示	有 (機器異常)	セキュリティーナビゲーションメニューから「アラーム確認」を行ってください。 (警告表示を「確認まで」に設定しているとき)
メディアアクセス失敗	メディアのアクセスに失敗しました	バックアップメディアのアクセスに失敗したことを示す表示	−	メディアに問題があると考えられます。 メディア交換後、操作をやり直してください。
メディアデータ転送失敗	メディアへのデータ転送に失敗しました	バックアップメディアへのデータ転送に失敗したことを示す表示	−	メディアに問題があると考えられます。 メディア交換後、操作をやり直してください。
メディアファイル作成失敗	メディアへのファイル作成に失敗しました	バックアップメディアへのファイル作成に失敗したことを示す表示	−	メディアに問題があると考えられます。 メディア交換後、操作をやり直してください。
バックアップ開始時内部エラー	バックアップ開始時に内部エラーが発生しました	バックアップ開始時に内部エラーが発生したことを示す表示	−	何らかの異常が発生し、バックアップ動作を開始できませんでした。 [リセット] ボタンを押して、本機を再起動してから操作をやり直してください。
指定ドライブ検出不可	指定ドライブが見つかりません	バックアップ指定ドライブが見つからなかったことを示す表示	−	ドライブ指定が正しくないか、メディアが正常に認識できない状態です。 メディア交換するか、挿し直してください。
メディアファイナライズ失敗	メディアのファイナライズに失敗しました	バックアップメディアのファイナライズに失敗したことを示す表示	−	メディアに問題があると考えられます。 メディア交換後、操作をやり直してください。
バックアップ記録継続不可	バックアップ記録が継続できない状態です	バックアップ記録が継続できない状態であることを示す表示	−	何らかの異常が発生し、バックアップ動作を終了できませんでした。 [リセット] ボタンを押して、本機を再起動してから操作をやり直してください。
バックアップ記録ファイル数エラー	バックアップ記録ファイル作成上限を超えました	バックアップ記録ファイル作成数の上限を超えたことを示す表示	−	これ以上は記録できませんので、別のメディアに交換してください。
ルートディレクトリ数エラー	メディア内のルートディレクトリのファイル / ディレクトリ数が合計 1000 件を超えました	バックアップメディア内のルートディレクトリのファイル / ディレクトリ数が合計 1000 件を超えたことを示す表示	−	これ以上は記録できませんので、別のメディアに交換してください。

次ページへつづく

異常種類	ワーニング情報表示	異常内容	通知	復旧方法
指定範囲記録データなし	バックアップ指定範囲に記録データがありませんでした	バックアップ指定範囲に記録データがなかった事を示す表示	－	HDD に記録されているデータが存在するかどうか確認してください。

以下は異常ではありません

種類	情報表示	内容	通知	復旧方法
HDD フル	HDD フル (A ～ C)	HDD 残量がフルになったことを表示	有	セキュリティーナビゲーションメニューから「HDD 残量復帰」を行ってください。
HDD ニアフル	HDD ニアフル (A ～ C)	HDD 残量が少なく（ニアフル）になったことを表示	有	－
外部センサー入力記録	入力 (1 ～ 16) での記録 IP(1 ～ 16) での記録	DVR 外部センサー及び IP カメラ外部センサーにより記録が開始したことを表示	有	－
MD 入力記録	MD 入力 (1 ～ 24) での記録	DVR のモーションディテクタおよび IP カメラのモーションディテクタにより記録が開始したことを表示	有	－
非常アラーム記録	非常アラームでの記録	非常アラーム記録が開始したことを表示	有	－
外部通知 1	外部通知 1	外部通知 1 が発生したことを表示	有	－
外部通知 2	外部通知 2	外部通知 2 が発生したことを表示	有	－
リビルド進捗率	(内蔵 / 外付け 1/ 外付け 2) リビルド中○○ %	HDD リビルド進捗情報を表示 (0 ～ 99%)　※ 100% で表示自動消去	－	－
IP アドレス変更	－	IP カメラの IP アドレスを変更したことの通知	有（メールのみ）	－
異常なし定時通知	－	異常がないことの通知	有（メールのみ）	－

消耗品について

- **ハードディスクは消耗部品です。3 年を目安に交換してください。（目安であり、保証ではありません。）**
- **交換したハードディスクの取り扱いについては、販売店にお問い合わせください。**

本機の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（営業損失などの補償）の責については、ご容赦ください。

ハードディスクが故障した場合、記録した映像音声データの保管および復旧はご容赦ください。

3 索　引

ア行

IP カメラ …… 43
アラーム入力…… 39
異常検出…… 50
いたずら検知サーチ…… 14
インデックスサーチ…… 12
インデックスサーチ（再生中）……8
上書き禁止サーチ…… 17
音声切換……4

カ行

外部ストレージ…… 18
外部ストレージの初期化…… 19
拡張端子…… 18
カメラコントロール…… 44
逆サーチ……8
逆転コマ送り再生……6
記録同時再生……8
警告表示…… 42
コマ送り再生……6

サ行

最新画像サーチ…… 11
再生……4
再生時刻表示切換……6
自動バックアップ…… 34
順サーチ……8
ズーム…… 40
セーブ／ロード…… 45

タ行

タイムデートサーチ…… 10

ナ行

日時絞込みサーチ…… 15

ハ行

ＨＤＤ異常…… 50
ＨＤＤ性能低下…… 50
ＨＤＤニアフル…… 52
ＨＤＤフル…… 52
ＨＤＤ未登録…… 50
バックアップ記録…… 20
バックアップ再生…… 21
バックアッププロテクト…… 34
早送り／早戻し再生……6
ファン異常…… 50

マ行

モーションディテクタサーチ…… 13
モーションディテクタ再生……7

ラ行

ライブ画面…… 37

ご購入店名：

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるときお役にたちます。

電話（　　－　　－　　）　ご購入年月日：　　年　　月　　日

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

企業や公共機関の家電品ニーズにおこたえする窓口

0120-312119

家電ビジネス情報センター 平日午前9時～午後5時30分
日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

VEGETABLE OIL INK

この取扱説明書の印刷には、植物油インキを使用しています。

株式会社 日立製作所
〒101-8010 東京都千代田区外神田4丁目14番1号
秋葉原UDXビル

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

QR80881 ©Hitachi, Ltd. 2011

Printed in Japan H0-Y(I)